

選択必修科目一覧表

総合エンタテインメント・大学科

総合エンタテインメント科

音楽アーティストコース ダンスコース K-POPダンス&ヴォーカルコース 映像デザインコース 作曲・編曲コース

3年次・4年次は下記科目より3年次328時間以上、4年次328時間以上の科目を選択すること

科目	時間	科目	時間	科目	時間	科目	時間
ヴォイストレーニング I	36	ドラムス実践 I	36	韓国語 II	36	照明基礎知識	34
ヴォイストレーニング II	36	ドラムス実践 II	36	ビジネス韓国語 I	34	照明実習 I	34
作詞実習	18	ドラムストレーニング I	34	ビジネス韓国語 II	34	照明実習 II	72
音楽理論	18	ドラムストレーニング II	34	K-POP総合ゼミ	34	色彩学	18
コーラスワーク	34	ドラムス専攻実技 I	34	ライブマーケティング I	34	レコーディング実践 I	72
ヴォーカルレコーディング	36	ドラムス専攻実技 II	34	ライブマーケティング II	34	レコーディング実践 II	72
作曲REC実習	34	ドラムス実技 I	34	デジタルマーケティング	34	レコーディング実習 I	68
ヴォーカル実技 I	17	ドラムス実技 II	34	デザイン実習 I	36	レコーディング実習 II	68
ヴォーカル実技 II	34	ドラムスセオリー I	34	デザイン実習 II	36	ミキシング実習 I	34
ソルフェージュ	17	ドラムスセオリー II	34	番組制作実習	36	ミキシング実習 II	36
ライブパフォーマンス実習	34	作曲音楽理論 I	36	舞台機構調整技能 I	34	スタジオワーク	34
作曲実習	34	作曲音楽理論 II	34	SNSマーケティング	34	Pro Tools実習	34
ギター実習/ピアノ実習	34	ピアノコード実技	36	ビジネス経営学	51	Pro Tools基礎	36
DTM	34	キーボードトレーニング I	34	イベント企画制作実習	17	MA実習	34
ヴォーカルパフォーマンス実習	34	キーボードトレーニング II	34	メディアプロモーション	36	サンレコ・Pro Tools	34
専門科目	36	ピアノ/キーボード専攻実技 I	34	地方創生論	34	作曲音楽理論 I	36
専門科目	36	ピアノ/キーボード専攻実技 II	34	雑誌編集・情報発信基礎	34	作曲音楽理論 II	34
専門科目	36	ピアノ/キーボード実技 I	34	映像デザイン実習	36	楽曲制作実習 I	34
専門科目	36	ピアノ/キーボード実技 II	34	映像制作実習	34	楽曲制作実習 II	34
専門科目	34	キーボードセオリー I	34	映像音楽実習	34	楽曲アナライズ I	34
専門科目	34	キーボードセオリー II	34	動画制作実習/MA実習	34	楽曲アナライズ II	34
専門科目	34	ダンス基礎 I	36	動画編集実習	34	メロディメイキング	36
専門科目	34	HIPHOP/JAZZ基礎	36	映像企画制作実習	34	作詞・メロディメイク	34
専門科目	34	GirlsHIPHOP基礎	34	PA音響実習 I	68	作曲編曲実習	34
専門科目	34	ダンス基礎/Choreograph	17	PA音響実習 II	72	MIDI概論	36
専門科目	34	ボディメンテナン	17	舞台機構調整技能 II	34	シンセサイザー概論/和声学・オーケストレーション	34
専門科目	34	ダンス基礎 II	34	ライブ実習	68	アレンジメント	36
専門科目	34	キッズダンス指導/振付制作実習	34	ポピュラー楽器基礎学 I	16		
専門科目	36	フリースタイル	34	ポピュラー楽器基礎学 II	18		
専門科目	36	アーティストコンテンツ制作・K-POPコピーダンス	36	音響基礎理論 I	18		
専門科目	34	TOPIK I・II	34	音響基礎理論 II	50		
専門科目	34	韓国語ヴォーカル	34	照明基礎知識 I	18		
専門科目	34	ヴォーカル実技 I (K-POP)	34	照明実習 I	18		
専門科目	34	ヴォーカル実技 II (K-POP)	36	映像機器基礎	18		
専門科目	34	ヴォーカルトレーニング	34	イベント実習	34		
専門科目	34	ダンス基礎	34	ムービング&LED照明実習 I	68		
専門科目	34	ダンス応用	34	ムービング&LED照明実習 II	34		
専門科目	34	韓国語 I	36	L8実習	34		

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢沙美	講義実施時期	前期	
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	ヴォーカル科	対象コース	18	時間
			ヴォーカル科全コース	

授業概要
 発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対する興味と関心を深める。
 ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。
 また、声の種類やそれぞれの課題に合わせた課題曲の歌唱を通して、自分自身の声と向き合うとともに、様々な音楽ジャンルや歴史にも興味を持たせる。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自己紹介させる一名前・高校名・好きなアーティストやジャンル・目標・授業で身に付けたいこと) ○講師紹介(名前・高校名・お仕事についてなど) ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ヴォイストレーニングの必要性 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的なストレッチ方法 ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○姿勢作り ○発声の仕組み・腹式呼吸と胸式呼吸の違い ○プレストレッチ ○現段階での声質・声量・歌唱力チェック(次回の授業に行うことを伝える)
2	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレストレッチ ○リップロール <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○現段階での声質・声量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ →それぞれの声質や課題点などアドバイス
3	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレストレッチ 復習 ○リップロール <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○発声の仕組み・共鳴腔説明(咽頭腔・胸腔:「お」、口腔:「あ」、鼻腔:「んが」) ○共鳴腔 ハミングロングトーン ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴腔から発声へ ハミングロングトーン
4	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミングロングトーン ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴腔から発声へ ハミングロングトーン <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発音へ「まめみもむまめみ」→「ら行」「は行」「な行」「さ行」「ば行」「んが行」応用
5	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴腔から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発音へ「まめみもむまめみ」→「ら行」「は行」「な行」「さ行」「ば行」「んが行」応用 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○5度音程 ○オクターブ音程
6	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階「ま」 ○5度音程 ○横隔膜トレーニング(ドッグプレス) ○スタッカート <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ファルセット 声帯の形態や声の種類説明「ほ」で実践
7	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階 ○スタッカート ○ファルセット <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○課題曲 テーマ:ファルセット 1コーラスのみ 全員で歌う→1人ずつ歌う ○次回課題曲発表 テーマ:自分で選曲するファルセット曲
8	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階 ○スタッカート ○ファルセット <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○前期課題発表 発声練習(音源)に合わせて ロングトーン・音階・スタッカート →音源配布
9	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン(音源) ○音階(音源) ○スタッカート(音源) ○ファルセット <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○課題曲 1人1人に課題曲 Full cho

教科書等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	<p>ストレッチや筋カトレーニングを通した体作り、発声練習を通した呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。</p> <p>前期に行ったことがどれくらいに身に付いているか、また、個人的に練習をしているかを見極め、それぞれに必要なトレーニングアドバイス、個性の構築を行う。</p> <p>課題曲を「覚える→歌う」のスピード感を上げることでの耳のトレーニング、様々な音楽ジャンルへの興味を引き出していく</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレッチ ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ:裏声の種類(ファルセットとヘッドボイス)
2	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ:裏声の種類(ファルセットとヘッドボイス)
3	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ:裏声の種類(ファルセットとヘッドボイス)
4	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ:急な高音への対応
5	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ:急な高音への対応
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○発声練習(ハミング・ロングトーン) ○後期評価曲発表 選曲理由、課題点など交えて一人ずつに
7	○後期評価曲 1コーラスのみチェック
8	○後期評価曲 フルコーラスチェック
9	○後期評価曲 テスト

教科書等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	<p>課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢沙美	講義実施時期	前期	
対象学年	2年	必修・選択	必修	
対象学科	ヴォーカル科	総授業時間	18時間	
		対象コース	ヴォーカル科全コース	

授業概要
 発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対しての興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深し、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。
 ストレッチや筋力トレーニングを通した体作り、発声練習を通した呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○姿勢作り ○発声の仕組み・腹式呼吸と胸式呼吸の違い ○プレストレッチ ○現段階での声質・音量・歌唱力チェック→次回の授業にて行うことを伝える ・自分の一番得意な曲を準備
2	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレストレッチ ○リップロール ○現段階での声質・音量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ →それぞれの声質や課題点などアドバイス
3	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹斜筋・背筋・体幹トレーニング2種・腹直筋) ○横隔膜トレーニング(ドッグプレス テンポ180 30秒) ○共鳴腔を感じながら音階発声 ○ハミング&ロングトーン ○ロングトーン(高音・鼻腔・中音・口腔・低音・咽頭腔&胸腔) ○言葉(あえいおう アンザツツ説明) ○音階(マ行) ○音階(長短3度) ○課題曲 テーマ: 音域の広い曲 1コーラスのみ
4	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹斜筋・背筋・体幹トレーニング2種・腹直筋) ○音階・表情筋トレーニング ○リップロール(ロングトーン・音階) ○ハミング&ロングトーン ○裏声(ファルセット)「ホホホホホ」 ○裏声から地声移行 ○課題曲 1人ずつ歌唱 1コーラスのみ
5	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発声へ「まめみもむまめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用 ○5度音程 ○オクターブ音程 ○細かい音程(上昇・下降)
6	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発声へ「まめみもむまめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用 ○5度音程 ○オクターブ音程 ○細かい音程(上昇・下降)
7	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発声へ「まめみもむまめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用 ○スタッカート ○課題曲 テーマ: テンポの速い曲「シュガーソングとビターステップ」1コーラスのみ 覚えるポイント説明 曲を覚えていく 自分のキーに合った音を探索させる
8	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発声へ「まめみもむまめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用 ○スタッカート ○課題曲 テーマ: 自分で選曲するテンポの速い曲 →音階2度階調の2枚録音: 1コーラスのみ 1人1曲歌唱
9	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発声へ「まめみもむまめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用 ○スタッカート ○課題曲 1人1人に課題曲 Full cho
10	

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	<p>発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対しての興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深くし、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。</p> <p>ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基本力の構築</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度動機付け ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 英語の発音・洋楽のグルーブ感
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 英語の発音・洋楽のグルーブ感
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 英語の発音・洋楽のグルーブ感
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 英語の発音・洋楽のグルーブ感 1コーラスのみ Keyを変えて一人ずつ ○課題曲 テーマ: 急な高音への対応
5	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度動機付け ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 急な高音への対応 ○課題曲 テーマ: 1音1音への集中・Pitch
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○プレストレーニング ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン) ○後期評価曲発表 選曲理由、課題点など交えて一人ずつに
7	○後期評価曲 1コーラスのみチェック
8	○後期評価曲 フルコーラスチェック
9	○後期評価曲 テスト

教科書等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	<p>課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作詞実習		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	時間

授業概要	<p>作詞に関し、DAWソフトを使用しつつ基礎的な技法を学ぶ。 ①既存曲から希望楽曲の選定②作詞③ブラッシュアップ④仮歌の録音 上記を基本的な流れとし、最終的にはタイアップ等を想定した作詞にも挑戦することで、作詞の技術だけでなく、エンタテインメントに関し多角的な視点を持てるようになることを目標とする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション(動機付け等)
2	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
3	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
4	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
5	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
6	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
7	個人課題② 2曲目の制作開始。
8	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
9	期末考査(制作物の発表)
10	前期イントロダクション(動機付け等)
11	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
12	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
13	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
14	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
15	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
16	個人課題② 2曲目の制作開始。
17	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
18	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
19	期末考査(制作物の発表)

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」JOP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音楽理論		実務授業の有無	×
担当講師	浅間 千央		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	音楽理論の基礎からコード理論・コードスケールの基本と相互関係を総合的に学びます。到達目標は、読譜、記譜ができるようになり、音楽理論を活用した作曲やアレンジができるようになる事。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・音楽理論とは何か。
2	メジャースケールの理解。
3	音符・休符・リズムの理解(基本編)。
4	音符・休符・リズムの理解(リズムトレーニング編)。
5	音符・休符・リズムの理解(符点音符・リズムトレーニング編)。
6	音程(インターバル)の理解(完全音程・長音程・短音程編)。
7	音程(インターバル)の理解(増音程・減音程編)。
8	前期末テスト。
9	前期末テスト解説。
10	和音の理解(三和音編)
11	和音の理解(四和音編)
12	和音の理解(テンションコード編)
13	和音確認テスト・答え合わせ・解説
14	メジャーダイアトニックコードの理解(基本編)
15	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
16	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
17	メジャーダイアトニックコードの理解(コードスケール編)
18	後期末テスト
19	後期末テスト解説

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コーラスワーク		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音/渋谷 聡美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリストとして大切な「相対音感」を身につけるためのトレーニングを行う。 全員での合唱・アカペラ曲の歌唱、少人数でグループにわかれてのコーラスのある曲の歌唱を通し、相手の音を聞く、相手の音に合わせて通し、1つの音楽を大人数で作り上げることや、人の音に合わせて自分の声を出す意識を高める。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
2	発声練習 合唱曲① パート別音取り・パート練習
3	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
4	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
5	発声練習 合唱曲② パート別音取り・パート練習
6	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
7	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
8	発声練習 合唱曲③ パート別音取り・パート練習
9	発声練習 合唱曲③ パート練習・合唱
10	後期イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
11	グループコーラス曲① グループ別練習
12	グループコーラス曲① グループ別練習
13	グループコーラス曲① グループ別練習
14	グループコーラス曲① 発表
15	グループコーラス曲② グループ別練習
16	グループコーラス曲② グループ別練習
17	グループコーラス曲② 発表
18	合唱曲④ パート練習
19	合唱曲④ 合唱

教科書等	各課題曲楽譜・音源を配布 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、音程の正確さなど技術全般50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	【大野】小学5年(2002年)から、りゅーとぴあ演劇スタジオキッズ・コース「APRICOT」に所属。 その後、高校1年(2008年)からは、りゅーとぴあ能楽堂シリーズに出演。 18歳(2011年)にはNew YorkのBroadway Dance Centerに1年間留学をする。 その後、「Harvest」という劇団を立ち上げ2作品上演。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルレコーディング		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>実際のレコーディングを通して、コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤフォン)を使ってのモニタリングやキューボックスの操作に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ 録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げていく 声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、選曲のポイント説明、目的を明確にし、目標を立てる
2	ナタリー石田のソロアルバム制作時の音源などをベースにレコーディングの過程などを学ぶ。
3	レコーディング
4	レコーディング、学生がディレクション
5	レコーディング、学生がディレクション
6	レコーディング、学生がディレクション
7	レコーディング、学生がディレクション
8	レコーディング、学生がディレクション
9	レコーディング、学生がディレクション
10	レコーディング、学生がディレクション
11	レコーディング、学生がディレクション
12	レコーディング、学生がディレクション
13	レコーディング、学生がディレクション
14	レコーディング、学生がディレクション
15	レコーディング、学生がディレクション
16	レコーディング、学生がディレクション
17	レコーディング、学生がディレクション
18	レコーディング、学生がディレクション
19	作品視聴会

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲70%、デモ音源評価30%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲REC実習		実務授業の有無	×
担当講師	小川拓・桑原陽樹		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	昨今のヴォーカリストに求められる作曲能力・メロディ制作能力を培うとともに、完成した作品を自分で録音・MIXができるようになるための授業
------	---

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	導入・前期授業内容説明／1年次作曲実習の振り返り、各自のオリジナル楽曲の現状把握
2	楽曲制作課題① 既存コード進行に合わせたメロディ作り
3	楽曲制作課題① 既存コード進行に合わせたメロディ作り・発表
4	楽曲制作課題② 複数のコード進行より選択しメロディ作り
5	楽曲制作課題② 複数のコード進行より選択しメロディ作り
6	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習①
7	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習②
8	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習③
9	前期まとめ、発表
10	導入・後期授業内容説明／前期の振り返り、各自のオリジナル楽曲の現状把握
11	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
12	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
13	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
14	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
15	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習④
16	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習⑤
17	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習⑥
18	後期まとめ、発表
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	出席率50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	17 時間
			対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリスト入門として、初めて歌に向き合う上での必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。さらに自分では「気づけない」「自分の持つ声の魅力および欠点」を講師の立場からアドバイスできたら、と思います。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【ソルフェージュと合同授業】簡単な自己紹介。先生からの質問に答えてもらう。まずは緊張を解し、歌手への第一歩としての学生生活の過ごし方などの他、今後の方向性や目指すべきものを導き出す。
2	【自己分析】詳しく自己紹介。影響を受けた歌手、自分の声質や声量、キャラクターなどを分析する。自分が影響を受けたヴォーカリストのどこに影響を受けたのか、また、自分がどのようなヴォーカリストを目指すべきなのかを導き出していく。その後、ヴォーカリストとしての基本的な心構えなどを論じていきます。
3	【歌の披露】現時点で自分が1番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
4	【テーマ：世界の様々な音楽を知る】若い学生が聴いたことのない様々なジャンルの音楽を聞いてもらう。それを聴いてどう感じたかを全員でクロストークし、【歌の世界】をより深く感じてもらう。
5	【テーマ：アップテンポの曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、まずは「アップテンポの曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
6	【テーマ：バラード曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、次は「バラード曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
7	【テーマ：自分に本当に合う楽曲1】ここまでやってきて、好き嫌いを別にしてそれぞれに自分の声質、特徴などを考え、自分に合う曲を一曲披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度披露してもらう。
8	【テーマ：自分に本当に合う楽曲2】前週にやった曲を修正・補正して披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう最終披露してもらう。
9	【前期最終課題】前回披露して、修正を加えた「自分に合う曲」を完全な形で一曲披露してもらう。歌詞は見えないステージングも意識して、あくまでお客様の目の前で歌ってる事を考え、プロへの第一歩としての歌を全力で。
10	【休み中のエピソード～歌唱】この休眼中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやっていたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。
11	【テーマ：真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそろそろ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。
12	【テーマ：洋楽】現代の若い子は洋楽に触れる機会が少ないと思われます。そこで洋楽のデュエット曲に挑戦。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。
13	【テーマ：洋楽2】前回初めて聴いたであろう洋楽曲を練習してきてもらい、練習の成果を披露。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。次回の授業で完成形を披露。
14	【テーマ：洋楽3】課題洋楽曲の完成形を披露。フェイクやシャウトの付け方などもレクチャーしつつ、より本物に近いカタチで歌えるコツを伝授。
15	【テーマ：幅広い年代層に向けて】不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になったり涙するような選曲を。この日に最終課題曲配布。
16	【テーマ：90～80年代の曲】90～80年代といってもすでに学生にとってはまだ生まれてもいない年代。この時代の曲を選曲し、歌唱してもらいます。この日に次回授業課題を配布します。
17	【ステージング】自分のコンサートを企画、ディレクションします。30分のステージと仮定し、オープニングの曲、もしくはエンディングの曲を披露。なぜその曲なのかも解説してもらいます。この日に最終課題曲を渡します。
18	【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。
18	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。

教科書等	特になし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	34 時間
			対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリスト入門として、初めて歌に向き合う上での必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や、独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。さらに自分では「気づけない」自分の持つ声の魅力および欠点を講師の立場からアドバイスできたら、と思います。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【二年目の自己紹介】一年間歌手の扉を開け、経験してきました。二年目の自己紹介してもらい、その際に自分が影響を受けた曲や二年目の自分をもう一度確認し、最後に今後の方向性や目指すべきものを導き出す
2	【歌の披露】現時点で自分が一番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
3	【歌の披露】現時点で自分が一番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
4	【テーマ：世界の様々な音楽を知る】若い学生が聴いたことのない様々なジャンルの音楽を聞いてもらう。それを聴いてどう感じたかを全員でクロストークし、【歌の世界】をより深く感じてもらう。
5	【テーマ：アップテンポの曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、まずは「アップテンポの曲」を歌唱してもらおう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
6	【テーマ：バラード曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、次は「バラード曲」を歌唱してもらおう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
7	【テーマ：自分に本当に合う楽曲1】ここまでやってきて、好き嫌いを別にしてそれぞれに自分の声質、特徴などを考え、自分に合う曲を一曲披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度披露してもらう。
8	【テーマ：自分に本当に合う楽曲2】前週にやった曲を修正・補正して披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度最終披露してもらう。
9	【前期最終課題】前回披露して、修正を加えた「自分に合う曲」を完全な形で一曲披露してもらう。歌詞は見えないステージングも意識して、あくまでお客様の目の前で歌ってる事を考え、プロへの第一歩としての歌を全力で。
10	【休み中のエピソード～歌唱】この休眼中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやっていたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。
11	【テーマ：真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそろそろ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。
12	【テーマ：洋楽】洋楽曲(POPS、ジャズ)に挑戦。英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。
13	【テーマ：洋楽2】前回初めて聴いたであろう洋楽曲を練習してきてもらい、練習の成果を披露。英語曲ならではの発声や発音を中心に指導。今回の授業で完成形を披露。
14	【テーマ：洋楽3】課題洋楽曲の完成形を披露。フェイクやシャウトの付け方などもレクチャーしつつ、より本物に近いカタチで歌えるコツを伝授。
15	【テーマ：幅広い年代層に向けて】不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になったり涙するような選曲を。この日に最終課題曲配布。
16	【テーマ：歌謡曲】みなさんが生まれる前の歌謡曲。この時代ならではの曲を選曲し、歌い方、表情の付け方、世界観を意識しながら、歌謡歌手になりきって歌唱してもらいます。
17	【テーマ：シチュエーション】こんな場、こんな客層にはどんな選曲をすれば良いのか…そういうことを考え、ディレクションしてもらう。この日に最終課題曲を渡します。
18	【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。
18	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。

教科書等	特になし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ソルフェージュ		実務授業の有無	○
担当講師	野瀬珠美		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	17 時間
			対象コース	全コース

授業概要	譜面に記してある様々な要素(旋律、リズム、ハーモニー等)を正確に読み取り、正確に表現する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	2拍子及び4拍子、四分音符と二分音符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちも並行して練習する。
2	3拍子、四分音符と二分音符さらにそれらに対応する休符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちの練習をする。
3	三度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と四分休符を含むリズム打ちの練習も行う。
4	三度音程を含むさらに複雑な旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、順次進行の調音(書き取り)をする。
5	付点二分音符を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と八分休符を含むリズム打ちを練習する。
6	タイを含む旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、八分音符、順次進行による 調音を行う。
7	四度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と八分休符を含むさらに複雑なリズム打ちを練習する。
8	四度音程を含む音程をもっと正確に歌えるようにする。またシンコペーションなどを含むリズム打ちの練習をする。
9	これまでに学んだコーリュブングンの実技テスト。またリズム打ち、調音のテストを行う。
10	2度3度音程を含む旋律を歌えるようにする
11	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
12	4度音程を含む旋律を歌えるようにする。
13	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
14	5度音程を含む旋律を歌えるようにする。
15	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律を歌う練習。
16	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習。
17	9週までに学んだコーリュブングン、その他の曲を歌う実技テスト。またリズム打ちのテストも行う。

教科書等	コーリュブングン・リズムの基礎・視唱ステップアップ 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2010年より国際音楽エンタテインメント専門学校、2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	えのもと くみこ		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感・曲決め。(課題曲?)
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック(新課題曲)
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
9	発表会のゲネリハーサル・フィードバック(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
10	発表会
11	イントロダクション(後期の授業概要説明)・合同演習の曲をチェック。
12	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
13	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
14	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。最終確認・発表。
15	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
16	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
17	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。最終確認・発表。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー・歌唱指導歴15年。NegiccoやNGT48など数々のアイドルグループやアーティストを指導、ジャズヴォーカリストの傍らマンダムズでピータンくみことして、ラジオやテレビのメディア出演など幅広く活動する。これまで個人で2枚のアルバム、マンダムズで5枚のアルバムを発表。一流ホテルのディナーショー・大ホールから地元のお祭りまで多数のステージを経験する。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲実習		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ヴォーカリストは歌を歌うだけでなく楽曲制作のノウハウも知っていなければいけない。また自分を売り出すためにはオリジナル曲があることが不可欠な時代となっている。ステージ発表、オーディションに向けて、自身で作詞作曲したオリジナル楽曲を作成するため、スコアの知識、コードに対するメロディ付けを学ぶ。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 前期授業概要説明、各自自作曲紹介、曲作りとは
2	調と音階、ダイアトニックコードに対するメロディづけ
3	長調のコードに対するメロディ・歌詞づけ
4	長調のコードに対するメロディ・歌詞づけ・発表
5	短調のコードに対するメロディ・歌詞づけ
6	短調のコードに対するメロディ・歌詞づけ・発表
7	期末作品制作
8	期末作品制作
9	期末作品制作・発表
10	後期授業概要説明
11	さまざまなコード進行・楽曲分析
12	さまざまなコード進行・楽曲分析・好きなコード進行を選びメロディづけ
13	楽曲制作①
14	楽曲制作②
15	楽曲制作③
16	楽曲制作④
17	楽曲制作⑤・発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度50%、課題制作30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に15年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター実習	実務授業の有無	○
担当講師	渋谷 聡美	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	2 年	総授業時間	34 時間
対象学科	ヴォーカル科	対象コース	

授業概要	弾き語りを通してオリジナリティを追求しパフォーマンスの幅を広げる。オケを使わずライブができるようになる。楽器の楽しさに触れる。前期は演奏強化、後期は作詞強化。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アコースティックギターの扱い方や名称、演奏に必要な道具の説明。スキルチェック。課題曲提示。
2	課題曲①
3	課題曲①
4	課題曲①チェック・フィードバック 課題曲②提示
5	課題曲②
6	課題曲②
7	課題曲②チェック・フィードバック
8	自由課題
9	自由課題
10	後期初回 作詞をするにあたって、手順や表現方法を学ぶ。
11	テーマを決め、浮かんだキーワードを書き出し、世界観を固める。
12	キーワードをピックアップしストーリーを描く。表現方法や言い換え方を考えながら作る。
13	楽曲制作① メロディー、コードを付ける。
14	楽曲制作② メロディー、コードを付ける。
15	楽曲制作③ メロディー、コードを付ける。
16	楽曲制作④ 発表に向けて衣装やメイクなども考える。
17	発表。

教科書等	ギターコード譜使用
成績評価	課題40%、授業態度および学習意欲60% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	国際音楽・エンタテインメント専門学校ヴォーカル科卒業 県内各地のライブハウス中心に弾き語り活動中

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	ピアノ実習		実務授業の有無	○
担当講師	塩田美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ヴォーカルコース

授業概要	<p>ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを実施。 楽譜の読み方、運指、リズム、奏法を学び、実践に繋げる。 ピアノソロでもアンサンブルでも活用できる技術を学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング
2	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 楽譜の読み方を学ぶ、簡単な課題曲提示
3	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
4	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
5	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、コードの読み方について学ぶ
6	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) コードの種類を学ぶ、課題曲提示
7	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
8	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習、チェック
9	ピアノ基礎トレーニングのテスト 課題曲発表→フィードバック 前期まとめ
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、自由課題曲選定(ピアノソロ)
11	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
12	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
13	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
14	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、自由課題曲選定(伴奏)
15	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
16	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
17	ピアノ基礎トレーニングのテスト 自由課題曲発表→フィードバック 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	<p>幼少期～現在までYAMAHAにてピアノ(クラシック)を習う。 国際音楽・ダンスエンタテイメント専門学校 ヴォーカル科ヴォーカル&楽器(キーボード)コース卒業。 新潟で活動しているバンド「Chic Sick」にてキーボード&コーラスを担当。 その他様々なアーティストのサポートキーボードとして活動中。</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音源編集・宅録実習		実務授業の有無	×	
担当講師	小川 拓		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34	時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース		

授業概要	<p>楽曲制作に必要なレコーディングの技術と知識を習得するための講義・実習を行う。 主にデモ音源制作を目的とした自宅等でのレコーディングスタジオを使用しないレコーディングを学ぶ。 学生が楽曲制作時に必要な音を自身で収録・編集し、楽曲のクオリティを向上させることを目標とする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の概要説明 動機づけ レコーディングの基礎知識
2	DAWでのレコーディングの手順と必要機材について
3	マイクの種類と特性 マイキングとマルチトラックレコーディングについて
4	ヴォーカルレコーディングの手順と実践
5	ヴォーカルレコーディングの手順と実践
6	ヴォーカルデータの編集 コンピングの手順と実践
7	MIDI入力によるレコーディングについて キーボードを使ったMIDIレコーディングの手順と実践
8	キーボードを使ったMIDIレコーディングの手順と実践 MIDIデータの編集について
9	MIDIデータの編集 前期のまとめ
10	ライン入力によるレコーディングについて ギター・ベースのレコーディング
11	ギター・ベースのレコーディング
12	ギター・ベースの編集
13	マイク入力による楽器のレコーディングについて アコースティックギターのレコーディング
14	アコースティックギターのレコーディングと編集
15	打楽器のレコーディング ドラムのマルチトラックレコーディングについて
16	ドラムのマルチトラックレコーディング
17	マルチトラックの編集 サンプリングについて
18	パーカッション等のサンプリング サンプリングデータの編集 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	出席率20%、課題提出50%、授業態度30%にて評価する。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	CHiCO/マクレーン有美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
9	発表会
10	イントロダクション(後期の授業概要説明・イベントの組み立て方のレクチャー)
11	個々に向けてパフォーマンスディレクション
12	個々に向けてパフォーマンスディレクション
13	個々に向けてパフォーマンスディレクション
14	ライブ練習
15	ライブ練習
12	ライブ練習
13	ライブのリハーサルを行う(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
14	
15	※市民プラザにてコンサート本番あり

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ユニバーサルよりメジャーデビュー。多くのメジャーアーティストのトレーニングも行い、ゲーム音楽を始め音楽制作にも携わる。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DTM		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	<p>譜面(マスタリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。 楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。 オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルの進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
19	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DTM		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	譜面(マスタリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルの進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
19	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター実践 I		実務授業の有無	○
担当講師	藤崎 哲弥		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科			対象コース	

授業概要	現代の多彩な楽曲を演奏する上で必要な演奏技術を研究します。ただこちらが与えるだけではなく、各々が自発的に得意分野や他ジャンルの楽曲へ挑戦し感想会をすることで多彩なギターの演奏アプローチを学びます。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション 授業概要・スタジオ・機材の使い方説明・各生徒の面談。
2	■課題曲の決定と研究① 各自課題曲の設定or講師からの出題曲の練習・講師によるアドバイス。
3	■各自発表 ・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行い感想会をする。
4	■前回の内容を踏まえた課題作成 授業概要・スタジオ・機材の使い方説明・各生徒の面談。
5	■課題曲の決定と研究② 各自課題曲の設定or講師からの出題曲の練習・講師によるアドバイス。
6	■各自発表② ・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行い感想会をする。
7	■前回の内容を踏まえた課題作成 授業概要・スタジオ・機材の使い方説明・各生徒の面談。
8	■課題曲の決定と研究③ 各自課題曲の設定or講師からの出題曲の練習・講師によるアドバイス。
9	■各自発表③ ・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行い感想会をする。
10	■後期イントロダクション 各生徒の面談・プロのギタリストの機材事例・リハ事例などの紹介
11	■課題曲の決定と研究④ 各自課題曲の設定or講師からの出題曲の練習・講師によるアドバイス。
12	■各自発表④ ・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行い感想会をする。
13	■前回の内容を踏まえた課題作成 授業概要・スタジオ・機材の使い方説明・各生徒の面談。
14	■課題曲の決定と研究⑤ 各自課題曲の設定or講師からの出題曲の練習・講師によるアドバイス。
15	■各自発表⑤ ・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行い感想会をする。
16	■前回の内容を踏まえた課題作成 授業概要・スタジオ・機材の使い方説明・各生徒の面談。
17	■課題曲の決定と研究⑥ 各自課題曲の設定or講師からの出題曲の練習・講師によるアドバイス。
18	■各自発表⑥ ・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行い感想会をする。

教科書等	なし。 なるべく自分の楽器を使うこと。
成績評価	発表成果70%、取り組み姿勢30% 授業を通して、昨日より今日、今日より明日といった進歩を評価します。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	PA業歴10年、プロミュージシャンとのやり取りの経験から 個人事業でも、作編曲、MIX、REC業務を行なう。 その経験からギターサポートやギタートラック提供なども行っている。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洗平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	さまざまなタイプのギタリストのプレイや特徴を追求、研究し自らのプレイに取り入れる。 受動的に学ぶのではなく、自主的に解を求め能動的にギターを学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	・授業概要説明、デモンストレーション。 ・第1弾参考アーティストを決める。
2	・各自発表資料作成し、講師がアドバイスをを行う。
3	・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行う。
4	・授業概要説明、デモンストレーション。 ・第2弾参考アーティストを決める。
5	・各自発表資料作成し、講師がアドバイスをを行う。
6	・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行う。
7	・授業概要説明、デモンストレーション。 ・前期最終参考アーティストを決める。
8	・各自発表資料作成し、講師がアドバイスをを行う。
9	・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行う。 ・学期末考査も踏まえる。
10	・授業概要説明、デモンストレーション。 ・第4弾参考アーティストを決める。
11	・各自発表資料作成し、講師がアドバイスをを行う。
12	・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行う。
13	・授業概要説明、デモンストレーション。 ・第5弾参考アーティストを決める。
14	・各自発表資料作成し、講師がアドバイスをを行う。
15	・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行う。
16	・授業概要説明、デモンストレーション。 ・前期最終参考アーティストを決める。
17	・各自発表資料作成し、講師がアドバイスをを行う。
18	・各自発表資料作成し、講師がアドバイスをを行う。
19	・研究結果発表。1名ずつレポート発表、演奏を行う。 ・学期末考査も踏まえる。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	発表成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギタートレーニング I		実務授業の有無	×
担当講師	福井 真生		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なスタイルやコード進行に対応できるバックイング、アドリブ等のアプローチ方法を学びます
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
2	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
3	上記を毎日日々のトレーニングとします。オープン、バレーコード等の基礎を学びます
4	オープン、バレーコード等の基礎を学びます
5	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
6	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
7	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
8	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
9	前期試験。これまでの内容の実践
10	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
11	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
12	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
13	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
14	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
15	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
16	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックやコードトーンを意識したアドリブの練習
17	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックとミクソリディアンスケール関係
18	
19	

教科書等	無し 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギタートレーニングⅡ		実務授業の有無	×
担当講師	福井 真生		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	総合的なギターの奏法を体得する。読譜からアドリブ演奏などの発展形までを網羅する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション ブルースセッションKey=A
2	ブルース進行における音楽理論的な考察
3	ブルース進行でのソロの作り方。ターンアラウンドフレーズ
4	メジャーブルース課題曲【KeyToTheHighway】の解説、ソロの取り方
5	マイナーブルース課題曲【Thrill is gone】の解説、ソロの取り方
6	ジャズブルース進行の考察。
7	ジャズブルース進行でのソロの取り方。
8	ジャズ課題曲【AutumunLeaves】でのコードアナライズ・メロディの読譜
9	学期末試験ジャズ課題曲【AutumunLeaves】のコード伴奏・メロディを演奏する。
10	ジャズ課題曲【AutumunLeaves】でのコードアナライズをしたうえでアドリブを取ってみる。
11	ジャズでのコードバック（コンピング）
12	ボサノバ風バックトレーニング（課題曲：Girl From Ipanema）
13	ブルースロック系バック・ソロトレーニング（課題曲①）
14	ブルースロック系でのソロメイキング（マイナーペンタ・メジャーペンタ・ドリアンスケールを用いる）
15	ブルースロック系でのソロメイキング（ミクソリディアンスケールを用いる）
16	3つのマイナーダイアトニックコード
17	3つのマイナーダイアトニックコードを用いたコード進行で、アドリブを取る（ナチュラルマイナー・メロディックマイナー・ハーモニックマイナースケールを使用して。）
18	
19	

教科書等	無し 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター専攻実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	総合的なギターの奏法をマスターする。 主にアコースティックギターを使用し、弾き語りの伴奏を体得する。また、ギターを使用したコード理論・ケーデンス・作曲法も体得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ギターの特徴であったり、教室施設の説明。スタジオ機材の説明
2	ギターの構え方。読譜方法。基本的ストローク
3	オープンコードの押さえ方。課題曲①を用いたコードチェンジ
4	課題曲① 全音符～8分音符のストローク
5	課題曲②8th note Groove 解説
6	課題曲②8th note Groove チェック
7	課題曲③16th note Groove 解説
8	課題曲③16th note Groove チェック
9	前期末テスト(課題曲②・③)
10	前期に行った課題曲をもう一度行い確認
11	転調とカポタストの役割
12	課題曲④3和音中心のアルペジオ
13	三和音・四和音のヴォイシング
14	四和音を使用した課題曲④8th note Groove
15	四和音を使用した課題曲④8th note Groove
16	四和音を使用した課題曲⑤16th note Groove
17	四和音を使用した課題曲⑤16th note Groove
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なスタイルやコード進行に対応できるバックイング、アドリブ等のアプローチ方法を学びます
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
2	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
3	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
4	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
5	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
6	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
7	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
8	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
9	前期試験。これまでの内容の実践
10	セカンダリードミナントのアプローチ
11	セカンダリードミナントのアプローチ
12	サブドミナントマイナー
13	サブドミナントマイナー
14	ナチュラル、ハーモニック、メロディックマイナーを学ぶ
15	ナチュラル、ハーモニック、メロディックマイナーを学ぶ
16	ディミニッシュ、オーギュメントコードを学ぶ
17	ディミニッシュ、オーギュメントコードを学ぶ
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	音楽理論を交えた演奏や、各音楽ジャンルへの理解を深めます。 譜面の読み書きや、コード・ハーモニーへの理解を深め、楽曲に対しての理解を深めます。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・授業の進行説明・面談(目指すギタープレイや将来の展望など確認)
2	メジャースケールの知識・アンプでの音つくりの知識
3	メジャースケールの基礎
4	3和音の知識(CAGEDフォームを使用)
5	ダイアトニックコードについて・メジャーダイアトニックコード進行
6	コードスケール・テンションに関して
7	マイナースケールとマイナーダイアトニックコード進行・テンション
8	ダイアトニック以外のコード(6th.sus4.Dim.分数コード)
9	前期末実技テスト
10	セカンダリードミナントコード・代理ドミナント・二次的ドミナントについて。
11	ディミニッシュコードについて①
12	ディミニッシュコードについて②
13	課題曲①の解説・実践
14	課題曲①のチェック
15	課題曲②の解説・実践
16	課題曲②のチェック
17	課題曲③のチェック

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なスタイルやコード進行に対応できるバックイング、アドリブ等のアプローチ方法を学びます
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
2	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
3	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
4	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
5	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習、ドリアンスケールの導入
6	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
7	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
8	アヴェイラブルノートスケール、モードスケールの理解
9	前期試験。これまでの内容の実践
10	セカンダリードミナントのアプローチ
11	セカンダリードミナントのアプローチ
12	サブドミナントマイナー
13	サブドミナントマイナー
14	ナチュラル、ハーモニック、メロディックマイナーを学ぶ
15	ナチュラル、ハーモニック、メロディックマイナーを学ぶ
16	ディミニッシュ、オーギュメントコードを学ぶ
17	後期試験。前期を含めて実践的に成果をみます
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギターセオリー I		実務授業の有無	○	
担当講師	梅川 洗平		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース	

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なジャンル、リズムの楽曲を総合的に学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
2	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
3	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
4	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
5	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
6	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
7	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
8	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
9	前期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏
10	後期開始 課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
11	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
12	課題曲アンサンブル。16ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
13	課題曲アンサンブル。17ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
14	課題曲アンサンブル。18ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
15	課題曲アンサンブル。19ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
16	課題曲アンサンブル。ハーフシャッフルビート曲の演奏
17	後期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギターセオリーⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洗平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ギターコース

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なジャンル、リズムの楽曲を総合的に学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
2	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
3	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
4	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
5	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
6	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
7	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
8	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
9	前期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏
10	後期開始 課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
11	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
12	課題曲アンサンブル。16ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
13	課題曲アンサンブル。17ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
14	課題曲アンサンブル。18ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
15	課題曲アンサンブル。19ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
16	課題曲アンサンブル。ハーフシャッフルビート曲の演奏
17	後期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブル実習		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	アンサンブルを通じて、バンドでのリズム・メロディ・ハーモニーのアレンジを総合的に学ぶ。課題曲を演奏したり、課題曲をアレンジしたりして楽曲への理解を深め、アレンジも行えるように指導を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マスタリズム・楽譜とは何か。課題曲①(ワンコーラス)
2	課題曲①
3	課題曲②
4	課題曲②
5	課題曲③
6	課題曲③
7	前期末課題曲④
8	前期末課題曲④
9	前期末課題曲テスト
10	課題曲⑤
11	課題曲⑤
12	課題曲⑥
13	課題曲⑥
14	課題曲⑦
15	課題曲⑦
16	課題曲⑧
17	課題曲⑧後期末課題曲テスト
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実践		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	38 時間
			対象コース	ベースコース

授業概要	音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	4ビートでのアンサンブル①テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	4ビートでのアンサンブル②アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲①マイナーブルース
7	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲②シャッフル
8	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲③コードトーン、スケール
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】アシッドジャズ
13	【ファンク】ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイヨン】ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	【グループワーク】セッショングループ3チーム作成し、オリジナルアンサンブル作成
19	【発表】まとめ発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	ベースの基礎的な演奏方法を学び、すべての奏法を網羅する。 様々なジャンルでの演奏方法を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。
2	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの基礎。
3	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの発展。
4	フレットポジションの確認・リズムの確認。
5	フレットポジションの確認・リズムの小テスト。
6	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの基礎。
7	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの発展。
8	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの基礎。
9	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの発展。期末確認テスト。
10	課題曲①の解説・実践。
11	課題曲①のチェック。改善案の提示。
12	ジャズ風のベースフレーズの基礎。
13	ジャズ風のベースフレーズの発展。
14	ファンク風のベースフレーズの基礎。
15	ファンク風のベースフレーズの発展。
16	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの基礎。
17	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの発展。
18	期末試験課題曲②の解説・実践。
19	期末試験課題曲②演奏試験。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベーストレーニング I		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	8ビートでのアンサンブル① テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	8ビートでのアンサンブル② アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲① マイナーブルース
7	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲② シャッフル
8	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲③ コードトーン自由
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】 ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】 ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】 アジッドジャズ
13	【ファンク】 ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】 ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイヨン】 ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ペーストレーニングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	8ビートでのアンサンブル① テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	8ビートでのアンサンブル② アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲① マイナーブルース
7	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲② シャッフル
8	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲③ コードトーン自由
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】 ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】 ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】 アジッドジャズ
13	【ファンク】 ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】 ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイヨン】 ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース専攻実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	ベースの基礎的な演奏方法を学び、すべての奏法を網羅する。 様々なジャンルでの演奏方法を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。
2	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの基礎。
3	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの発展。
4	フレットポジションの確認・リズムの確認。
5	フレットポジションの確認・リズムの小テスト。
6	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの基礎。
7	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの発展。
8	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの基礎。
9	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの発展。期末確認テスト。
10	課題曲①の解説・実践。
11	課題曲①のチェック。改善案の提示。
12	ジャズ風のベースフレーズの基礎。
13	ジャズ風のベースフレーズの発展。
14	ファンク風のベースフレーズの基礎。
15	ファンク風のベースフレーズの発展。
16	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの基礎。
17	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの発展。
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	ベースの基礎的な演奏方法を学び、すべての奏法を網羅する。 様々なジャンルでの演奏方法を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。
2	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの基礎。
3	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの発展。
4	フレットポジションの確認・リズムの確認。
5	フレットポジションの確認・リズムの小テスト。
6	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの基礎。
7	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの発展。
8	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの基礎。
9	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの発展。期末確認テスト。
10	課題曲①の解説・実践。
11	課題曲①のチェック。改善案の提示。
12	ジャズ風のベースフレーズの基礎。
13	ジャズ風のベースフレーズの発展。
14	ファンク風のベースフレーズの基礎。
15	ファンク風のベースフレーズの発展。
16	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの基礎。
17	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの発展。
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	基礎から発展したフレーズを学ぶ。音楽理論を踏まえたフレーズや、ベースラインの構築などを学ぶ。また、リズム楽器としての役割を考えフレーズづくるができる様になる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。フレットポジションについて。リズムの読み方。
2	コード理論・フレットポジションについて。リズムの読み方
3	コード譜に沿ったリズムトレーニング①
4	コード譜に沿ったリズムトレーニング②
5	運指トレーニングの強化・ピッキングについての考察。
6	ハンマリング・プリング・フィンガー/ピックピッキングの考察。
7	3・5・7度を使用した基礎フレーズ。
8	3・5・7度を使用した発展フレーズ。課題曲①の解説・実践
9	期末テスト(課題曲①)
10	メジャースケールを使用した技術トレーニング。
11	ナチュラルマイナースケールを使用した技術トレーニング。
12	コードトーンを使用したフレーズ作り。
13	課題曲②の解説・実践
14	課題曲②の中間確認テスト
15	スラップの基本フレーズ
16	スラップの発展フレーズ(期末小テスト)
17	期末テスト

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	基礎から発展したフレーズを学ぶ。音楽理論を踏まえたフレーズや、ベースラインの構築などを学ぶ。 また、リズム楽器としての役割を考えフレーズづくるができる様になる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。フレットポジションについて。リズムの読み方。
2	コード理論・フレットポジションについて。リズムの読み方
3	コード譜に沿ったリズムトレーニング①
4	コード譜に沿ったリズムトレーニング②
5	運指トレーニングの強化・ピッキングについての考察。
6	ハンマリング・プリング・フィンガー/ピックピッキングの考察。
7	3・5・7度を使用した基礎フレーズ。
8	3・5・7度を使用した発展フレーズ。課題曲①の解説・実践
9	期末テスト(課題曲①)
10	メジャースケールを使用した技術トレーニング。
11	ナチュラルマイナースケールを使用した技術トレーニング。
12	コードトーンを使用したフレーズ作り。
13	課題曲②の解説・実践
14	課題曲②の中間確認テスト
15	スラップの基本フレーズ
16	スラップの発展フレーズ(期末小テスト)
17	期末テスト
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベースセオリー I		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	実践でのトレーニング。専攻授業の実践や応用、読譜力、専攻楽器以外の知識習得し、バンド演奏に必要な音楽的知識を総合的に学ぶ内容
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。フレットポジションについて。リズムの読み方。
2	コード理論・フレットポジションについて。リズムの読み方
3	コード譜に沿ったリズムトレーニング①
4	コード譜に沿ったリズムトレーニング②
5	運指トレーニングの強化・ピッキングについての考察。
6	ハンマリング・プリング・フィンガー/ピックピッキングの考察。
7	3・5・7度を使用した基礎フレーズ。
8	3・5・7度を使用した発展フレーズ。課題曲①の解説・実践
9	期末テスト(課題曲①)
10	メジャースケールを使用した技術トレーニング。
11	ナチュラルマイナースケールを使用した技術トレーニング。
12	コードトーンを使用したフレーズ作り。
13	課題曲②の解説・実践
14	課題曲②の中間確認テスト
15	スラップの基本フレーズ
16	スラップの発展フレーズ(期末小テスト)
17	期末テスト

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベースセオリーⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	実践でのトレーニング。専攻授業の実践や応用、読譜力、専攻楽器以外の知識習得し、バンド演奏に必要な音楽的知識を総合的に学ぶ内容
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。フレットポジションについて。リズムの読み方。
2	コード理論・フレットポジションについて。リズムの読み方
3	コード譜に沿ったリズムトレーニング①
4	コード譜に沿ったリズムトレーニング②
5	運指トレーニングの強化・ピッキングについての考察。
6	ハンマリング・プリング・フィンガー/ピックピッキングの考察。
7	3・5・7度を使用した基礎フレーズ。
8	3・5・7度を使用した発展フレーズ。課題曲①の解説・実践
9	期末テスト(課題曲①)
10	メジャースケールを使用した技術トレーニング。
11	ナチュラルマイナースケールを使用した技術トレーニング。
12	コードトーンを使用したフレーズ作り。
13	課題曲②の解説・実践
14	課題曲②の中間確認テスト
15	スラップの基本フレーズ
16	スラップの発展フレーズ(期末小テスト)
17	期末テスト

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実践 I		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1、チェンジアップなど、ドラムの基礎的な部分の理解、習得。 2、スティックコントロール、フットワークなどの理解、習得。 3、応用的なフレーズ、ビートなどの理解、習得。 4、曲に合わせた技術の応用。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、スキルチェック
2	チェンジアップ、ストロークの確認
3	チェンジアップの復習と発展、ストロークの確認
4	発展的なバッド練習、フットワークの確認
5	発展的なバッド練習のドラムセットへの応用、フットワーク確認
6	フィルインの考え方、創作フィルなど
7	曲に対するアプローチの考え方①
8	曲に対するアプローチの考え方②
9	フレーズの考え方①
10	フレーズの考え方②
11	フレーズの考え方③
12	自由曲課題①
13	自由曲課題②
14	自由曲課題③
15	自由曲課題④
16	自由曲課題⑤
17	自由曲課題⑥
18	自由曲課題⑦
19	ドラムス実践課題発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露70%、授業態度および学習意欲30%、 後期課題披露50%、自由曲20%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。 新潟県音楽スクールにてドラムス講師を行う。 リズム&ドラムマガジン(リットーミュージック)主催「誌上ドラムコンテスト 2021」一般コース グランプリ受賞。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1、チェンジアップなど、ドラムの基礎的な部分の理解、習得。 2、スティックコントロール、フットワークなどの理解、習得。 3、応用的なフレーズ、ビートなどの理解、習得。 4、曲に合わせた技術の応用。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、スキルチェック
2	チェンジアップ、ストロークの確認
3	チェンジアップの復習と発展、ストロークの確認
4	発展的なバッド練習、フットワークの確認
5	発展的なバッド練習のドラムセットへの応用、フットワーク確認
6	フィルインの考え方、創作フィルなど
7	曲に対するアプローチの考え方①
8	曲に対するアプローチの考え方②
9	フレーズの考え方①
10	フレーズの考え方②
11	フレーズの考え方③
12	自由曲課題①
13	自由曲課題②
14	自由曲課題③
15	自由曲課題④
16	自由曲課題⑤
17	自由曲課題⑥
18	自由曲課題⑦
19	ドラムス実践課題発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露70%、授業態度および学習意欲30%、 後期課題披露50%、自由曲20%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。 新潟県音楽スクールにてドラムス講師を行う。 リズム&ドラムマガジン(リットーミュージック)主催「誌上ドラムコンテスト 2021」一般コース グランプリ受賞。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムトレーニング I		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>1、ドラムグレード試験の内容、目的の理解。7級取得を基本目的とし個人差で上下。</p> <p>2、基本的な読譜力とスティックコントロールを使ったルーディメンツ課題の実践(A課題)。</p> <p>3、ドラムセットでの多ジャンルの演奏の知識、実技の修得(B課題)。</p> <p>4、グレードレベルに合った自由曲の演奏。</p> <p>5、読譜力の応用と初見演奏への対応。</p>
------	--

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	個人のスキルチェック。読譜力等。 デイリーエクササイズ説明。(A課題、初見演奏を見据えたもの、毎回行います。) スティックコントロール、7級A課題導入。 自由曲選定基準説明。4曲選定。
2	7級初見課題解説。(初めて見る楽譜を30秒予見後指定されたテンポで演奏) B課題練習開始。(オルタネイトの16th Feel) 自由曲決定、音源準備(宿題)
3	7級A課題対策。(8分音符、タイ、16分音符) 7級B課題対策。(両足、16分音符の足) 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
4	7級A課題練習。(3連符、アクセントショット、フラム) 7級B課題練習。(スローテンポ16th Feel) 個人差で8級、6級指導 自由曲(宿題)
5	自由曲宿題チェック。 マスターリズム譜作成の指導。
6	7級A課題練習。 7級B課題練習。(Fill in、4小節のリピート展開) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
7	7級B課題練習。(アップテンポのロックビート、シャッフル、ワルツ) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
8	自由曲宿題チェック(生徒の皆さんにそれぞれ評価してもらいます。) ここまでマスターリズム譜完成。 本番の流れ、対策説明。
9	7級デモ試験。
10	自由曲演奏。 自由曲(4~5曲)は夏期休業中宿題。
11	7級A課題復習。 7級B課題復習。 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
12	初見演奏対策、テンポキープ(チームA) 7級B課題練習(チームB)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
13	初見演奏対策、テンポキープ(チームB) 7級B課題練習(チームA)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
14	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
15	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
16	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。
17	グレード試験デモ。 最終調整。
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
------	---------------------

成績評価	前期課題披露70%、授業態度および学習意欲30%、 後期課題披露80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
------	--

実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。
-----------	-----------------------

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムトレーニングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>ドラマーとしてのリズムキープを年間通して指導。 ボディバランス強化のため筋トレ実施。 ドラマーとしての体づくり、メンタル強化。</p> <p>授業を通して挨拶、返事などの礼儀も含め人間性も高めていけるよう 毎回の授業での意欲を重視する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【目標設定をしよう！】 1年生時の見直し、2年生時としての動機付け、卒業後の目標設定 筋トレ、コアトレーニング実施、ドラムセッティングチェック実施。
2	【自分の限界を知ろう！】 簡単な8ビートをゆっくりなテンポ(BPM60)から、速いテンポ(BPM200)まで徐々にあげていき 自分がどれだけ叩けないかを知る。
3	【ノリを一定に保とう！】① ハイハットを4、8と刻みを変化させ、テンポキープするがノリを一定に保つ練習 一定なリズムを作ってから、アクセントを付けてビートのバリエーションを知る。
4	【ノリを一定に保とう！】② 実際に使用されている曲からピックアップして、実践的にリズムキープ。 ビートのバリエーションを更に知る。
5	【ノリを一定に保とう！】③ ※5月まとめ ギターのためのインスト曲に自分が考えたリズムフレーズを付けて叩いてみよう。
6	【有名アーティストのフレーズを叩こう！】① 歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。
7	【有名アーティストのフレーズを叩こう！】② 歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。
8	【前期課題配布】 前期行った事を踏まえた課題をピックアップ。 次週にオーディション形式で課題チェックを行う
9	前期課題チェックテスト
10	後期は実践形式で授業を行う。 一つのライブ行うとしたら？を課題とし、自由曲と題して、10曲+アンコール2曲で全12曲用意。 実際にLIVEを行う気持ちで12曲を叩ける事が目標。最終日に全曲通し。
11	【自由曲練習】① 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
12	【自由曲練習】② 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
13	【自由曲練習】③ 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
14	中間発表 自由曲12曲を披露
15	【自由曲練習】④ 全体の流れ、曲順番、構成の再チェック。
16	【自由曲練習】⑤ 各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示
17	模擬LIVE①
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲40%、 後期自由曲課題披露80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス専攻実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 直久	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1.ドラム演奏の知識や、技術を基礎から応用まで学ぶ。 2.身体の使い方に着目した無理の無い、演奏フォームを身に着ける。 3.成功体験を重ね、モチベーションを保つ方法を身に着ける。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	講師デモ演奏・個人面談・ドラムの座り方、スティックの持ち方、4つのストロークの解説。 アクセント移動、8ビート・裏打ちを眼界まで行う。
2	4つのストロークの復習。オープンリムショットについて、音符について理解する。 バズドラムの踏み方。8ビートの色々なバスのパターンを行う。
3	ダブルストロークの基本。ルーディメンツの重要性について。フィルの作り方について。課題曲の提示。
4	バラデイドルの解説。フラム・ドラッグの説明、バズドラのダブルの踏み方。課題曲の発表。評価。
5	バラデイドルの復習。ハイハットのアプローチについて。 ライブの時のリハーサルの流れや、サウンドチェック時に確認する事などを教える。
6	バラデイドルの派生形、3つ割のフィルや考え方について。 シングルストローク、ダブルストローク、バラデイドルの基礎練習。
7	6連系のルーディメンツ。ビート練習 9回目の授業でドラムソロをする告知。
8	6連系のルーディメンツの復習。 各自ドラムソロ練習、スタジオ巡回。
9	ドラムソロ発表(動画撮影)次回授業の告知(面談と、今まで授業で行ったルーディメンツテスト)
10	ルーディメンツの確認テスト3種類。バラケッタの解説。面談。
11	5連符の解説。簡単な叩いて見たの録り方を実演。SNS等での動画再生の伸ばし方。 13回目の授業までに動画提出。
12	バラデイドルのアクセント。 様々なビート①。 次回課題の質問等を聞く。提出方法を説明。
13	全期のアクセントの復習。 様々なビート②
14	フラムアクセント・フラムタップ・ツインペダルを使ってみる(手足のコンビネーション・ツービート)。
15	前回のルーディメンツの確認。 ツインペダルを使ってみる(16分音符など)
16	ドラム講師体験(初心者に教える設定) 評価週での課題(テスト)を発表。
17	ドラムソロ発表。評価
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲30%、毎日のルーディメンツ10% 後期課題披露50%、自由曲30%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 直久	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1.ドラム演奏の知識や、技術を基礎から応用まで学ぶ。 2.身体の使い方に着目した無理の無い、演奏フォームを身に着ける。 3.成功体験を重ね、モチベーションを保つ方法を身に着ける。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	講師デモ演奏・個人面談・ドラムの座り方、スティックの持ち方、4つのストロークの解説。 アクセント移動、8ビート・裏打ちを眼界まで行う。
2	4つのストロークの復習。オープンリムショットについて、音符について理解する。 バズドラムの踏み方。8ビートの色々なバスのパターンを行う。
3	ダブルストロークの基本。ルーディメンツの重要性について。フィルの作り方について。課題曲の提示。
4	バラデイドルの解説。フラム・ドラッグの説明、バズドラのダブルの踏み方。課題曲の発表。評価。
5	バラデイドルの復習。ハイハットのアプローチについて。 ライブの時のリハーサルの流れや、サウンドチェック時に確認する事などを教える。
6	バラデイドルの派生形、3つ割のフィルや考え方について。 シングルストローク、ダブルストローク、バラデイドルの基礎練習。
7	6連系のルーディメンツ。ビート練習 9回目の授業でドラムソロをする告知。
8	6連系のルーディメンツの復習。 各自ドラムソロ練習、スタジオ巡回。
9	ドラムソロ発表(動画撮影)次回授業の告知(面談と、今まで授業で行ったルーディメンツテスト)
10	ルーディメンツの確認テスト3種類。バラケッタの解説。面談。
11	5連符の解説。簡単な叩いて見たの録り方を実演。SNS等での動画再生の伸ばし方。 13回目の授業までに動画提出。
12	バラデイドルのアクセント。 様々なビート①。 次回課題の質問等を聞く。提出方法を説明。
13	全期のアクセントの復習。 様々なビート②
14	フラムアクセント・フラムタップ・ツインペダルを使ってみる(手足のコンビネーション・ツービート)。
15	前回のルーディメンツの確認。 ツインペダルを使ってみる(16分音符など)
16	ドラム講師体験(初心者に教える設定) 評価週での課題(テスト)を発表。
17	ドラムソロ発表。評価
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲30%、毎日のルーディメンツ10% 後期課題披露50%、自由曲30%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 直久		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	1.読譜能力の習得 2.即興演奏力の習得			
------	-------------------------	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	8分音符を用いた譜面の初見演奏 音符、楽譜の読み方のレクチャー
2	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
3	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
4	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
5	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
6	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
7	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
8	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
9	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
10	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスイオン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
11	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスイオン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
12	17分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスイオン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
13	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
14	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
15	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
16	生徒自身で作成した初見演奏用の楽譜を、グループ内で交換し実践 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う
17	音符の組み合わせが複雑な譜面を用いての初見演奏 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梨本 宜久		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	34 時間
			対象コース	ドラムスコース

授業概要	1.読譜能力の習得 2.即興演奏力の習得
------	-------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	8分音符を用いた譜面の初見演奏 音符、楽譜の読み方のレクチャー
2	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
3	8分音符を用いた譜面の初見演奏 マスター譜の作成と実演
4	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
5	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
6	8分音符と8分休符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存の曲を聴き、自身でマスター譜を作成する
7	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
8	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
9	8分音符と16分音符を組み合わせた譜面の初見演奏 既存曲から作成したマスター譜を生徒同士で交換し、実演
10	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスワン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
11	16分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスワン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
12	17分音符を用いた譜面の初見演奏 マイナスワン音源を用いて、その場で演奏を組み立てる
13	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
14	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
15	16分音符と16分休符を用いた譜面の初見演奏 講師の演奏を耳コピし譜面に起こし採譜力を身につける
16	生徒自身で作成した初見演奏用の楽譜を、グループ内で交換し実践 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う
17	音符の組み合わせが複雑な譜面を用いての初見演奏 課題曲とそのマスター譜を用いて即興演奏を行う
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	個人経営のドラム教室と、新潟の楽器店の音楽教室で講師を務めている

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムスセオリー		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要

- 1、ドラムグレード試験の内容、目的の理解。7級取得を基本目的とし個人差で上下。
- 2、基本的な読譜力とスティックコントロールを使ったルーティン課題の実践(A課題)。
- 3、ドラムセットでの多ジャンルの演奏の知識、実技の修得(B課題)。
- 4、グレードレベルに合った自由曲の演奏。
- 5、読譜力の応用と初見演奏への対応。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	個人のスキルチェック、読譜力等。 デシリ-エクササイズ説明。(A課題、初見演奏を見据えたもの、毎回行います。) スティックコントロール、7級A課題導入。 自由曲選定基準説明、4曲選定。
2	7級初見課題解説。(初めて見る楽譜を30秒予見後指定されたテンポで演奏) B課題練習開始。(オルタネイ卜の16th Feel) 自由曲決定、音源準備(宿題)
3	7級A課題対策。(8分音符、タイ、16分音符) 7級B課題対策。(両足、16分音符の足) 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
4	7級A課題練習。(3連符、アクセントショット、フラム) 7級B課題練習。(スローテンポ16th Feel) 個人差で8級、6級指導 自由曲(宿題)
5	自由曲宿題チェック。 マスターリズム譜作成の指導。
6	7級A課題練習。 7級B課題練習。(Fill in、4小節のリビ-ト展開) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
7	7級B課題練習。(アップテンポのロックビ-ト、シャッフル、ワルツ) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
8	自由曲宿題チェック(生徒の皆さんにそれぞれ評価してもらいます。) ここまでマスターリズム譜完成。 本番の流れ、対策説明。
9	7級デモ試験。
10	自由曲演奏。 自由曲(4~5曲)は夏期休業中宿題。
11	7級A課題復習。 7級B課題復習。 自由曲(宿題) 個人差で8級、6級指導。
12	初見演奏対策、テンポキ-プ(チームA) 7級B課題練習(チームB)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
13	初見演奏対策、テンポキ-プ(チームB) 7級B課題練習(チームA)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
14	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
15	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
16	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。
17	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムスセオリー II		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	<p>1、ドラムグレード試験の内容、目的の理解。7級取得を基本目的とし個人差で上下。</p> <p>2、基本的な読譜力とスティックコントロールを使ったルーティン課題の実践(A課題)。</p> <p>3、ドラムセットでの多ジャンルの演奏の知識、実技の修得(B課題)。</p> <p>4、グレードレベルに合った自由曲の演奏。</p> <p>5、読譜力の応用と初見演奏への対応。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<p>【目標設定をしよう！】</p> <p>1年生時の見直し、2年生時としての動機付け、卒業後の目標設定 筋トレ、コアトレーニング実施、ドラムセッティングチェック実施。</p>
2	<p>【自分の限界を知ろう！】</p> <p>簡単な8ビートをゆっくりなテンポ(BPM60)から、速いテンポ(BPM200)まで徐々にあげていき 自分がどれだけ叩けないかを知る。</p>
3	<p>【ノリを一定に保とう！】①</p> <p>ハイハットを4、8と刻みを変化させ、テンポキープするがノリを一定に保つ練習 一定なリズムを作ってから、アクセントを付けてビートのバリエーションを知る。</p>
4	<p>【ノリを一定に保とう！】②</p> <p>実際に使用されている曲からピックアップして、実践的にリズムキープ。 ビートのバリエーションを更を知る。</p>
5	<p>【ノリを一定に保とう！】③ ※5月まとめ</p> <p>ギターのためのインスト曲に自分が考えたリズムフレーズを付けて叩いてみよう。</p>
6	<p>【有名アーティストのフレーズを叩こう！】①</p> <p>歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。</p>
7	<p>【有名アーティストのフレーズを叩こう！】②</p> <p>歴代の有名アーティストからフレーズを叩く。 使えるリズムパターン、フィルを知る。</p>
8	<p>【前期課題配布】</p> <p>前期行った事を踏まえた課題をピックアップ。 次週にオーディション形式で課題チェックを行う</p>
9	前期課題チェックテスト
10	<p>後期は実践形式で授業を行う。</p> <p>一つのライブ行うとしたら？を課題とし、自由曲と題して、10曲+アンコール2曲で全12曲用意。 実際にLIVEを行う気持ちで12曲を叩ける事が目標。最終日に全曲通し。</p>
11	<p>【自由曲練習】①</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
12	<p>【自由曲練習】②</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
13	<p>【自由曲練習】③</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
14	中間発表 自由曲12曲を披露
15	<p>【自由曲練習】④</p> <p>全体の流れ、曲順番、構成の再チェック。</p>
16	<p>【自由曲練習】⑤</p> <p>各曲でのアドバイス指導 リズムの表現、曲の抑揚を指示</p>
17	模擬LIVE①

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	<p>作曲・編曲に必要なハーモニー・スケールの基礎を習得し、メロディーやアレンジのアプローチを学ぶ。 音楽の構造を理解することにより既存曲のアナライズ等、音楽研究が出来るようになり楽曲制作のクオリティを向上させる。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽理論とは何か 音楽理論を学ぶ必要性 授業の趣旨
2	メジャースケールとキー インターバル(音の距離)
3	インターバル確認 基本コードの構造(3和音)
4	3和音の確認 基本コードの構造(4和音)
5	4和音の確認 コードの構造(応用)
6	コードの構造確認 コードの転回
7	キーと調号 ダイアトニックコード
8	ダイアトニックコードとコードスケール テンションノートとアポイドノート
9	ダイアトニックコードの機能とコード進行 ドミナントモーション ケーデンス/前期評価課題 まとめ
10	前期の確認
11	セカンダリドミナント
12	セカンダリドミナントを用いたメロディーのアプローチ
13	セカンダリドミナントを用いたコードアレンジ
14	マイナーキー ナチュラルマイナースケールとダイアトニックコード
15	ハーモニックマイナー・メロディックマイナーのスケールとダイアトニックコード
16	マイナーキーを用いた楽曲制作練習
17	モーダルインターチェンジ
18	モーダルインターチェンジを用いた楽曲制作練習
19	後期評価課題 まとめ

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	<p>期末課題50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に15年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論Ⅱ	実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	2 年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科	対象コース	キーボードコース

授業概要	MIDIキーボードやシンセサイザーを活用した作編曲の手法を学ぶ。ポピュラー音楽理論を中心とした作曲法や、流行の音楽ジャンルを参考にしたアレンジメントについて扱う。また、シンセサイザー音色を用いた楽曲制作が出来るようになるためには、シンセサイザーの仕組みを理解することが必須になるので、その必要な知識を学び実践してもらおう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業ガイダンス(授業内容・到達目標の共有)DTMIにおけるキーボードの活用法について①一打ち込みやMIDI CC、コントロールサーフェス等の入力系機能の活用
2	DTMIにおけるキーボードの活用法について②—DAW内部でハードウェアキーボード(シンセサイザー)の音色を使用する
3	アナログシンセサイザーの基礎知識とその仕組み ハードウェアシンセサイザーとソフトウェアシンセサイザーの主な種類
4	バンドサウンドアレンジにおけるキーボードの役割、キーボード(シンセサイザー)の音色の種類とアレンジについて
5	ソフトウェアシンセサイザー「SynthCell」の使い方と音色制作
6	ダンス/クラブミュージック・エレクトロミュージックにおけるシンセサイザーの役割とパート構成、アレンジについて
7	ソフトウェアシンセサイザー「Vital」の使い方と音色制作
8	ソフトウェアシンセサイザープラグインの主な種類とvstプラグインの活用
9	前期課題曲の提出と評価・アドバイス
10	和声機能論と代理和音① コード・パターンの活用とリハーモナイズ/リレイテッドⅡマイナー
11	テンションとテンションコードの活用
12	転調① 平行・同主調間転調 パラレル・マイナー・コードの活用
13	転調② ポピュラー音楽で使用されやすい転調/近親調・遠隔調への転調について
14	ディミニッシュ・コードの活用とトライトーンによるドミナント7thコードとの関係について スラッシュ・コードの活用①
15	スラッシュ・コードの活用② ペダルポイント/ハイブリッド・コード
16	チャーチ・モード・スケールと様々なスケールの活用 モーダル・インターチェンジとモード的作曲法について
17	代理和音② トライトーン・サブスティテューションによる代理和音とリハーモナイズ
18	その他のコードの活用法 パラレル・メジャー・コード オーギュメント・コード/ブラック・アダー・コード 4度堆積和音
19	後期課題曲の提出と評価・アドバイス

教科書等	なし
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として13年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードトレーニング I		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	コード理論、コードトレーニング、コードによるアレンジやアドリブ演奏等を総合的に学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト。課題曲の選曲。
2	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
3	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
4	トライアド・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
5	セブンス・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
6	ダイアトニック・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
7	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
8	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
9	前期まとめ。課題曲演奏試験
10	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
11	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
12	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
13	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
14	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
15	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
16	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
17	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
18	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)③
19	後期まとめ。課題曲演奏試験。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 フライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードトレーニングⅡ	実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	2 年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科	対象コース	キーボードコース

授業概要	コード理論、コードトレーニング、コードによるアレンジやアドリブ演奏等を総合的に学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト。課題曲の選曲。
2	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
3	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
4	トライアド・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
5	セブンス・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
6	ダイアトニック・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
7	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
8	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
9	前期まとめ。課題曲演奏試験
10	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
11	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
12	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
13	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
14	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
15	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
16	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
17	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
18	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)③
19	後期まとめ。課題曲演奏試験。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 フライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ピアノ・キーボード専攻実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	塩田美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを行い、バンドアンサンブルにおけるキーボードパートの演奏技法の習得や、シンセサイザーの音作り、採譜を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング、課題曲①選定→キーボードパートの聴き取り、譜面起こし
2	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①譜面起こし
3	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①を実際に弾いてみる
4	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
5	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①テスト→フィードバック、課題曲②選定→キーボードパートの聞き取り、譜面起こし
6	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②譜面起こし
7	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②を実際に弾いてみる
8	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②キーボードパートの音作り→設定した音色で課題曲練習
9	課題曲②テスト→フィードバック、前期まとめ
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、バンド演奏におけるキーボードのフレーズ研究
11	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードのフレーズを考案→譜面起こし
12	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
13	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
14	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③テスト→フィードバック、課題曲④(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードパートのフレーズを考案→譜面起こし
15	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
16	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
17	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④音源に合わせて練習
18	課題曲④テスト→フィードバック、後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	幼少期～現在までYAMAHAにてピアノ(クラシック)を習う。 国際音楽・ダンスエンタテインメント専門学校 ヴォーカル科ヴォーカル&楽器(キーボード)コース卒業。 新潟で活動しているバンド「Chic Sick」にてキーボード&コーラスを担当。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ピアノ・キーボード専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	塩田美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを行い、バンドアンサンブルにおけるキーボードパートの演奏技法の習得や、シンセサイザーの音作り、採譜を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング、課題曲①選定→キーボードパートの聴き取り、譜面起こし
2	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①譜面起こし
3	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①を実際に弾いてみる
4	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
5	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①テスト→フィードバック、課題曲②選定→キーボードパートの聞き取り、譜面起こし
6	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②譜面起こし
7	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②を実際に弾いてみる
8	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②キーボードパートの音作り→設定した音色で課題曲練習
9	課題曲②テスト→フィードバック、前期まとめ
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、バンド演奏におけるキーボードのフレーズ研究
11	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードのフレーズを考案→譜面起こし
12	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
13	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
14	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③テスト→フィードバック、課題曲④(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードパートのフレーズを考案→譜面起こし
15	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
16	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
17	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④音源に合わせて練習
18	課題曲④テスト→フィードバック、後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	幼少期～現在までYAMAHAにてピアノ(クラシック)を習う。 国際音楽・ダンスエンタテインメント専門学校 ヴォーカル科ヴォーカル&楽器(キーボード)コース卒業。 新潟で活動しているバンド「Chic Sick」にてキーボード&コーラスを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボード実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸直		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング、課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ・課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	後期まとめ。課題曲演奏試験
18	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 プライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。
---------------	--

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボード実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸直		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング、課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ・課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	後期まとめ。課題曲演奏試験
18	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 プライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。
---------------	--

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードセオリー I		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸直		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング、課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ・課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	後期まとめ。課題曲演奏試験
18	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 プライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。
---------------	--

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードセオリーⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸直		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング、課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ・課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	後期まとめ。課題曲演奏試験
18	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 プライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。
---------------	--

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ダンス基礎 I		実務授業の有無	○
担当講師	合同会社UNITY		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	
授業概要	ダンスの軸となる基礎レッスンを行う			

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	リズムトレーニング(アップ→ダウン) アイソレーション
2	リズムトレーニング(アップ→ダウン) アイソレーション
3	リズムトレーニング(アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ横ノリ) アイソレーション
4	リズムトレーニング(アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ横ノリ) アイソレーション
5	リズムトレーニング(アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ横ノリ) アイソレーション
6	基礎を応用した振り落とし(前期課題)
7	前期課題の復習&練習
8	前期課題発表
9	リズムトレーニング(アップ→ダウン) アイソレーション
10	リズムトレーニング(アップ→ダウン) アイソレーション
11	リズムトレーニング(アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ横ノリ) アイソレーション
12	リズムトレーニング(アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ横ノリ) アイソレーション
13	リズムトレーニング(アップ→ダウン→前ノリ→後ノリ横ノリ) アイソレーション
14	基礎をメインとした振り落とし
15	基礎をメインとした振り落とし
16	基礎をメインとした振り落とし
17	中級者レベルの振り落とし(後期課題)
18	後期課題発表
教科書等	なし
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2017年 vibe dance competition jr 優勝 2018年 Body rock 3位 2019年 東方神起Live tour tomorrow オープニングパフォーマンス vibe dance competition jr 二連覇 第34回国民文化祭・新潟2019 天皇陛下 御前演舞 2020年 vibe dance competition jr 3連覇 2021年 NBC world of dance movie competition 優勝

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HIPHOP/JAZZ基礎		実務授業の有無	○
担当講師	合同会社UNITY		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	①スキルチェック②各週で振り付けを渡して、その振り付けに対するテーマを自分で付ける③ルーティンで基礎を学ぶダンサーとして生きていくには？を常に生徒に考えさせ、1年を通して必要なスキル、人間性、考える力、行動力、創造力、カリスマ性を身につけられるようなレッスン組み。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	スキルチェック(1限JAZZ・2限HIPHOP)それぞれ基礎が入った振り付けを行う
2	スキルチェックを踏まえて1人1人に対してのこれから伸ばしていく部分を伝え、前回の振り付けを確認していく
3	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(次週までにテーマをつけて踊り込んで来よう)
4	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限振り付けとテーマを披露
5	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(リーダーを決めて、次週までにチームごとの構成をつけてくる)
6	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限各チーム毎の披露
7	1限基礎トレーニング 2限作品練習
8	作品練習
9	作品練習
10	全員に同じテーマを与え、それに沿った作品を次週までに作ってきてもらう。1人作品
11	基礎トレーニング・作品披露(この作品の中で良かった2人の作品を、チーム分けをして作品として練習)
12	基礎トレーニング・作品披露
13	みんなでひとつの作品を創り上げる
14	みんなでひとつの作品を創り上げる
15	みんなでひとつの作品を創り上げる
16	みんなでひとつの作品を創り上げる
17	みんなでひとつの作品を創り上げる
18	作品完成
教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	street dance of china season4 出場、DANCE PRESENTATION UNITYスタッフ・インストラクター、CHIBI UNITY指導、SUGA DANCE INNOVATIONインストラクター、JRA新潟 競馬場CM出演、2016、2017 JDAC全日本ダンス教育指導者指導技術コンクールゲスト出演、HILTY & BOSH 20th anniversary ASIA live Will 出演

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	GirlsHIPHOP基礎		実務授業の有無	○
担当講師	小澤 くに		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要 ヒップホップをベースに女性らしい動きを研究し、男の子も女の子も基礎を身に付けて自分の色を出せるようアドバイスもしながらレッスンしていきます。また、胸や腰などを使う動きが多いので基礎トレーニングも行います。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	1限基礎トレーニング 2限振り付け
2	1限基礎トレーニング 2限振り付け
3	1限基礎トレーニング 2限振り付け
4	1限基礎トレーニング+応用 2限振り付け
5	1限基礎トレーニング 2限振り付け
6	1限基礎トレーニング 2限振り付け
7	1限基礎トレーニング 2限振り付け
8	1限基礎トレーニング+応用 2限振り付け
9	1限基礎トレーニング 2限振り付け
10	1限振り付け 2限構成つけてミニ作品作り
11	1限基礎トレーニング 2限振り付け
12	1限基礎トレーニング+応用 2限振り付け
13	1限基礎トレーニング 2限振り付け
14	1限2限振り付け
15	1限2限振り付け
16	1限2限振り付け
17	1限2限振り付け

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2023年 音楽と髭達-WA- ダンサー出演 2023年 NSG大学園祭ダンスコンテスト優勝

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ダンス基礎／Choreograph		実務授業の有無	○
担当講師	本間 鈴乃		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	17
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	スタイルヒップホップというジャンルで特徴は曲の歌詞や世界観のイメージを表現するのが主です。それを踏まえつつR&B曲を使った踊りで感情を表せるような振り付けを作成し生徒にそれを自分なりに表現してもらい私からもアドバイスをするながれです。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	スタイルヒップホップはどのような踊りなのかを説明して動画を2、3個見て学ぶ。その後スタイルヒップホップに必要なヒップホップ、ジャズ基礎を学ぶ。①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
2	前回の復習＋見せ方(角度)を学ぶ。①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎
3	前回の復習＋リズム取り(ダウンのリズム)①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
4	前回の復習＋リズム取り(アップのリズム)①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
5	前回の復習＋スタイルヒップホップ振り付け①ヒップホップ基礎②振り付け
6	前回の復習①ヒップホップ②振り付け
7	ストレッチ＋振り付け
8	前回の復習＋振り付けを1分ほど進める
9	前回の復習＋実際に動画を取り、自分がどう表現できてるかを確認
10	ストレッチ＋リズム取り(ダウンのリズム)＋応用
11	前回の復習＋リズム取り(アップのリズム)＋応用
12	前回の復習＋フリースタイル講義
13	ストレッチ＋前回の復習
14	ストレッチ＋振り付け
15	ストレッチ＋1.2分の振り付けをする
16	前回の復習
17	振り付けの撮影
教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2022年 NSG大運動会 3代目JSoulBrothers ELLY バックダンサー出演 2023年 NSG大運動会 QUEENDOM バックダンサー 2023年 NSG大学園祭ダンスコンテスト優勝

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ボディメンテナンス		実務授業の有無	○
担当講師	本間 鈴乃		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	17 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ダンサーは身体と心が健康でなければ人に影響を与られません。 健康であるための知識と実力を学ぶ授業をテーマにし、一番は生徒とのコミュニケーションを大切にする時間とする 基本体づくりは知識と経験が必要不可欠の為、座学ではない限り3回を目安に指導を行い、その後は生徒の体調を判断して授業の選択を行う。生徒一人一人の生活習慣や家庭環境も把握し適切なアドバイスを行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	『ストレッチ』柔軟性を重視したメニューを作成。身体が硬い事は怪我にも繋がります。上達の妨げとなる為一番最初に指導する。その他の授業でも行うがこちらの授業では一人一人の使い方も指導し、確実に柔らかくするように指導を行う
2	『ストレッチ』柔軟性を重視したメニューを作成。身体が硬い事は怪我にも繋がります。上達の妨げとなる為一番最初に指導する。その他の授業でも行うがこちらの授業では一人一人の使い方も指導し、確実に柔らかくするように指導を行う
3	『トレーニング』主に身体の筋力量を増やすことを目的とした授業メニューの作成。ダンサーに特に必要な筋力の箇所を教え、やり方を具体的に指導して行く。やり方一つで効力が左右する為、効果的かつ理解の早いメニューを作成
4	『トレーニング』主に身体の筋力量を増やすことを目的とした授業メニューの作成。ダンサーに特に必要な筋力の箇所を教え、やり方を具体的に指導して行く。やり方一つで効力が左右する為、効果的かつ理解の早いメニューを作成
5	『体幹トレーニング』ダンスで一番大切だと言われている体幹の授業。物理的に左右する力の利用方法や、軸の拡大を目的としたメニューの作成。ダンサーにとって一番利用できる自主トレーニングも指導
6	『体幹トレーニング』ダンスで一番大切だと言われている体幹の授業。物理的に左右する力の利用方法や、軸の拡大を目的としたメニューの作成。ダンサーにとって一番利用できる自主トレーニングも指導
7	『ダンストレーニング』筋力が上がった頃を見計らってスタートする増えた筋力をダンスに活かすトレーニング筋トレとダンスの中間。主に体幹を使えるようにし増えた筋力の使い方、ダンスへの繋げ方を指導する。
8	『ダンストレーニング』筋力が上がった頃を見計らってスタートする増えた筋力をダンスに活かすトレーニング筋トレとダンスの中間。主に体幹を使えるようにし増えた筋力の使い方、ダンスへの繋げ方を指導する。
9	『バレエトレーニング』全てのダンスの基礎を利用し、軸、バランス、筋力、体幹の使い方、柔軟性の使い方を指導する。ダンスの基礎カテゴリーアップを目的として知識、考える力、発見する力も身につける。
10	『マッサージ』使ったらその体を癒す。身体のケアの仕方を学ぶ。知識として理解し、その後は仲間同士でケアできるように実践を学ぶ。怪我の防止とダンスカアップの効率化、体調面のバランスをこの授業でとり、リラックスをする
11	『怪我メンテナンス』ダンサーに怪我は隣り合わせ。怪我をした際の応急処置や、怪我の防止方法を指導する、
12	『怪我メンテナンス』ダンサーに怪我は隣り合わせ。怪我をした際の応急処置や、怪我の防止方法を指導する、
13	『食』ダンサーの身体を作る食に関する授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
14	『食』ダンサーの身体を作る食に関する授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
15	『骨理論』身体を支えているのは骨であり、筋肉はそれを補うもの。骨の使い方をより深く理解して、身体に負担のないダンスの仕方、身体の使い方を理解する。
16	『骨理論』身体を支えているのは骨であり、筋肉はそれを補うもの。骨の使い方をより深く理解して、身体に負担のないダンスの仕方、身体の使い方を理解する。
17	『マッサージ』『怪我メンテナンス』実技この実技を通して評価基準とする。
教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、理解度20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2022年 NSG大運動会 3代目JSoulBrothers ELLY バックダンサー出演 2023年 NSG大運動会 QUEENDOM バックダンサー 2023年 NSG大学園祭ダンスコンテスト優勝

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ダンス基礎Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	磯間 鴻太		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1・2	年	必修・選択	必修
対象学科	ダンス科		総授業時間	34 時間
			対象コース	全コース

授業概要	<p>体作り、リズム、アイソレーションと踊る際に必要な基礎トレーニングを行いダンススキルの向上を図ります。 振り付けはスタイルヒップホップを実施し、踊りの個性を引き出し自分らしさを強調したダンスを学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
授業テーマ・授業内容・特記事項など	
1	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
2	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
3	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
4	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
5	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
6	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
7	1時間目：スタイルヒップホップ振り付け 2時間目：前期評価 1時間目に実施した振り付けを各自発表し評価する
8	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
9	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
10	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
11	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
12	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
13	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
14	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
15	1時間目：ストレッチ、体幹、アイソレーション、リズムトレーニング 2時間目：スタイルヒップホップ振り付け
16	1時間目：スタイルヒップホップ振り付け 2時間目：後期評価 1時間目に実施した振り付けを各自発表し評価する
教科書等	なし。
成績評価	<p>授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>San Diego留学(三ヶ月)</p> <p>2023世界大会VIBE DANCE COMPETITION Adult部門 優勝</p> <p>2023アメリカズ・ゴット・タレント出演 ゴールデンブザー賞獲得</p> <p>2023 NSG大学園祭ダンスコンテスト優勝 振り付け</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キッズダンス指導／振付制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	小澤 にこ／本間 鈴乃		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	32 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日和山小学校クラブ活動の一環としてダンスレッスンを行う。 小学校4～6年生を対象に、文化祭で披露するダンスの振付・構成・レッスンを行う。 この授業で、ダンスインストラクターを経験する。 ※小学校へのレッスンは小学校の年間スケジュールにより変動する。</p>
------	--

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業内容の説明と動機づけ。 初回レッスンの内容を相談する。(ストレッチの流れ)
2	1人3項目づつ、ストレッチの説明を行う。 フィードバックを加え、実際のレッスンメニューを組み立てる。
3	前回の続き
4	1回目小学校レッスン(目標/曲決め)
5	チーム分けをおこない、2曲の音源編集と振付を行う。
6	2曲の振付を行う。
7	2回目小学校レッスン(ストレッチ/振付指導) ※担当グループのみ
8	レッスン内容の修正と振付創作。 この授業で、ダンスインストラクターを経験する。
9	レッスン内容の修正と振付創作。
10	本番までにやってほしいことの確認。 レッスンの内容を決め。
11	4回目小学校レッスン フィードバック
12	5回目小学校レッスン フィードバック
13	6回目小学校レッスン (動画対応→imovieを使用しての動画編集)
14	7回目小学校レッスン フィードバック
15	8回目小学校レッスン フィードバック
16	全体のフィードバック

教科書等	なし。
成績評価	授業態度および学習意欲70%、指導力15%、協調性15% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2022年 NSG大運動会 3代目JSoulBrothers ELLY バックダンサー出演 2023年 音楽と髭達-WA- ダンサー出演 2023年 NSG大運動会 QUEENDOM バックダンサー 2023年 NSG大学園祭ダンスコンテスト優勝

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	フリースタイル		実務授業の有無	○	
担当講師	合同会社UNITY		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	32	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース	

授業概要	①スキルチェック②各週で振り付けを渡して、その振り付けに対するテーマを自分で付ける③ルーティンで基礎を学ぶダンサーとして生きていくには？を常に生徒に考えさせ、1年を通して必要なスキル、人間性、考える力、行動力、創造力、カリスマ性を身につけられるようなレッスン組み。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	スキルチェック(1限JAZZ・2限HIPHOP)それぞれ基礎が入った振り付けを行う
2	スキルチェックを踏まえて1人1人に対してのこれから伸ばしていく部分を伝え、前回の振り付けを確認していく
3	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(次週までにテーマをつけて踊り込んで来てもらう)
4	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限振り付けとテーマを披露
5	1限ストレッチとトレーニング 2限振り付け(リーダーを決めて、次週までにチームごとの構成をつけてくる)
6	1限ストレッチ、ターン&ジャンプ 2限各チーム毎の披露
7	1限基礎トレーニング 2限作品練習
8	作品練習
9	作品練習
10	全員に同じテーマを与え、それに沿った作品を次週までに作ってきてもらう。1人作品
11	基礎トレーニング・作品披露(この作品の中で良かった2人の作品を、チーム分けをして作品として練習)
12	基礎トレーニング・作品披露
13	みんなでひとつの作品を創り上げる
14	みんなでひとつの作品を創り上げる
15	みんなでひとつの作品を創り上げる
16	作品完成
教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	street dance of china season4 出場、DANCE PRESENTATION UNITYスタッフ・インストラクター、CHIBI UNITY指導、SUGA DANCE INNOVATIONインストラクター、JRA新潟 競馬場CM出演、2016、2017 JDAC全日本ダンス教育指導者指導技術コンクールゲスト出演、HILTY & BOSH 20th anniversary ASIA live Will 出演

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アーティストコンテンツ制作	実務授業の有無	○
担当講師	南方 健太郎	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	1・2 年	総授業時間	36 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科	対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	毎レッスンテーマを決めアーティストとして活動していくために必要となる力やステージ上及び、カメラワークを入れての魅せ方、パフォーマンスのスキル向上を目指した授業
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明
2	体づくり→ダンス
3	アーティスト写真撮影
4	体づくり→ダンス
5	振り落とし→構成作り
6	体づくり→ダンス
7	振り落とし→構成作り
8	パフォーマンス動画撮影準備
9	パフォーマンス動画撮影
10	体づくり→ダンス
11	体づくり→ダンス
12	振り落とし→構成作り
13	体づくり→ダンス
14	アーティスト写真撮影
15	体づくり→ダンス
16	振り落とし→構成作り
17	パフォーマンス動画撮影準備
18	パフォーマンス動画撮影

教科書等	ナシ
成績評価	出席率50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK I 検定対策授業		実務授業の有無	×
担当講師	裴英賞/李ウンジョン/平川真由美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	時間

授業概要	<p>K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。レベル別クラス編成とし、TOPIK I (1級～2級)合格に必要な傾向と対策を理解し、聞き取り力と読み取り力を身につける。</p> <p>副教材として初級単語800を用い、合格する為の語彙力をアップさせる。</p> <p>今年度受験終了後はTOPIK I 振り返りとTOPIK II へ向けた準備の学習を進める</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	TOPIK I の試験概要に対して説明し合格ラインを把握する。 出題の流れ、手順の説明と過去問から試験パターンを知る。
2	「聞き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	「聞き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	「聞き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	「聞き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	過去問実施及び解説
11	過去問実施及び解説
12	過去問実施及び解説
13	過去問実施及び解説
14	過去問実施及び解説
15	TOPIK I 検定振り返りおよびTOPIK II 準備
16	TOPIK II 準備
19	評価週 1年の振り返りと習得度の確認

教科書等	韓国語能力試験TOPIK I (初級)完全対策 韓国語能力試験TOPIK I, 2級 初級単語800 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度(40%)検定結果(20%)学習意欲(20%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK II 検定対策授業		実務授業の有無	×
担当講師	裴英實/イ ウンジョン/平川真由美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース/K-POPダンス・ウォークコース

授業概要	<p>K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。レベル別クラス編成とし、能力別にTOPIK3級以上を目指す。</p> <p>「聴き取り」、「作文」、「読解」全ての項目に対し、過去問のパターンと問題を分析し、それを理解・応用して問題が解けるよう学習していく。副教材として中級単語1800を用い、合格する為の語彙力をアップさせる。今年度受験終了後は検定振り返りとより上級合格へ向けた準備の学習を進める</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①TOPIKIIの試験概要に対して説明し合格ラインを把握する。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
2	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	過去問実施及び解説
11	過去問実施及び解説
12	過去問実施及び解説
13	過去問実施及び解説
14	過去問実施及び解説
15	TOPIK II 検定振り返りおよび次回への準備
16	より上級を目指す為の対策
17	評価週 1年の振り返りと習得度の確認

教科書等	韓国語能力試験TOPIK II (中・上級) 完全対策 韓国語能力試験TOPIK3, 4級 中級単語1800 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度(40%) 検定結果(20%) 学習意欲(20%) 提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語ヴォーカル		実務授業の有無	○
担当講師	朴 鎮文/RANY/soomi		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	Koreanスタイル 歌い方や自分たちの歌のレベルUP
------	-----------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	課題曲決め。曲によく使われた歌詞の発音練習
2	課題曲決め。曲によく使われた歌詞の発音練習
3	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
4	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
5	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
6	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
7	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
8	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
9	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
10	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音 評価
9	後期用の課題曲決め
10	後期用の課題曲決め
11	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
12	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
13	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
14	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音
15	曲の歌い方と、韓国語の歌としての発音 評価

教科書等	なし 課題曲を個別で決めてもらい、レッスン 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	授業態度および歌唱審査70%、授業態度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	朴 鎮文 ●韓国アーティストへの楽曲提供やヴォーカルトレーニングを行う RANY ●セミヨン音楽スクール、PETRA音楽スクールのヴォーカル、Key、音楽理論、作曲編曲講師 soomi ●HYBE LABELS JAPANヴォーカルトレーナー

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技I		実務授業の有無	○
担当講師	マクレーン有美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	ヴォーカルにおける基礎、発声を学び、歌唱における応用、テクニックを体得。 “歌う事”が特別な事ではなく、日常になるよう、日々、歌に取り組んでいきましょう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アイスブレイク 自己紹介 前期授業概要説明
2	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
3	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
4	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
5	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
6	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
7	課題曲練習
8	課題曲練習
9	全体発表
10	ウォームアップ グループ決め
11	グループワーク グループに分かれて課題曲に取り組む
12	グループワーク グループに分かれて課題曲に取り組む
13	グループワーク グループに分かれて課題曲に取り組む
14	グループワーク グループに分かれて課題曲に取り組む
15	グループワーク2 グループに分かれて課題曲に取り組む
16	グループワーク2 グループに分かれて課題曲に取り組む
17	全体発表
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率30%、授業態度および学習意欲30%、課題評価20%、テスト20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー歴24年 多くのアーティスト、アイドルを指導、ライブパフォーマンス、レコーディングディレクション行う。 ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	えのもとくみこ／渋谷		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>発声基礎から、歌唱で必要なメロディーアプローチ、グループ感、ヴォーカルコントロール全般のレッスンを行う。</p> <p>個人レッスンを通して自分の声としっかり向き合い、自分に合った発声法、オリジナリティある表現を見出していく。</p> <p>ヘッドセットを使用し、今後のライブに向けての実践練習を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、レッスン時における重要事項の説明、グループ分け発表→課題曲選定
2	グループ練習
3	グループ練習
4	グループごとにチェック(歌唱、ダンスそれぞれチェック)
5	全体発表(全員からフィードバック)、グループ分け→課題曲選定
6	グループ練習
7	グループ練習
8	グループごとにチェック(歌唱、ダンスそれぞれチェック)
9	全体発表(全員からフィードバック)、前期まとめ
10	イントロダクション(後期の授業概要説明)・グラコンの曲をチェック
11	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
12	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
13	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
14	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。最終確認・発表。
15	全体発表(全員からフィードバック)
16	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
17	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
18	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。最終確認・発表。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	<p>授業態度および学習意欲40%、課題評価30%、テスト30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>【えのもと】マダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。</p> <p style="text-align: center;">【渋谷】国際音楽・エンタテインメント専門学校ヴォーカル科卒業 県内各地のライブハウス中心に弾き語り活動中</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルトレーニング	実務授業の有無	○
担当講師	マクレーン有美	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	2 年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科	対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	ヴォーカルにおける基礎、発声を学び、歌唱における応用、テクニックを体得。 “歌う事”が特別な事ではなく、日常になるよう、日々、歌に取り組んでいきましょう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アイスブレイク 自己紹介 前期授業概要説明
2	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
3	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
4	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
5	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
6	基礎トレーニング 発声 ヴォイストレーニング
7	課題曲練習
8	課題曲練習
9	全体発表
10	ウォームアップ 曲決め 目標設定
11	課題曲練習
12	課題曲練習
13	課題曲練習
14	課題曲練習
15	課題曲練習
16	課題曲練習
17	発表
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業態度および学習意欲40%、課題評価30%、テスト30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー歴24年 多くのアーティスト、アイドルを指導、ライブパフォーマンス、レコーディングディレクション行う。 ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ダンス基礎		実務授業の有無	○
担当講師	大澤菜花		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1・2	年	必修・選択	選択必修
対象学科	K-POPエンタテインメント科		総授業時間	38 時間
		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース	

授業概要	ダンスのスキル向上 K-POP楽曲に対する動きや基礎力の向上
------	-----------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の説明 自己紹介等
2	基礎練習
3	基礎練習
4	基礎練習
5	基礎練習
6	基礎練習
7	基礎練習
8	基礎練習
9	基礎練習
10	基礎練習
11	基礎練習
12	基礎練習
13	基礎練習
14	基礎練習
15	基礎練習
16	基礎練習
17	基礎練習
18	基礎練習
19	まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、ダンススキル審査50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ダンスチーム ホッピーズ 代表 amerikan internathinal 世界大会 jazz部門2位 Hoppies 950 WODジャパン新潟大会予選通過 世界大会出場 950 特別賞受賞 振り付け 演出 新潟市内コンテスト多数優勝、入賞

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ダンス応用		実務授業の有無	○
担当講師	大澤菜花		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	kpopアーティストになるためのダンス基礎強化、表現力、パフォーマンス力の向上。基本をもとにした振り付けから、応用した振り付けの練習の中で、表現力、パフォーマンス力、自分らしさを追求する授業内容です。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介、ミーティング 授業の流れの説明
2	ダンス応用
3	ダンス応用
4	ダンス応用
5	ダンス応用
6	ダンス応用振り付け
7	ダンス応用振り付け
8	ダンス応用振り付け
9	ダンス応用振り付け
10	振り付け 応用
11	振り付け 応用
12	振り付け 応用
13	振り付け 応用
14	振り付け 応用
15	振り付け 応用
16	振り付け 応用
17	振り付け まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、ダンススキル審査50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ダンスチーム ホッピーズ 代表 amerikan internathinal 世界大会 jazz部門2位 Hoppies 950 WODジャパン新潟大会予選通過 世界大会出場 950 特別賞受賞 振り付け 演出 新潟市内 コンテスト多数優勝、入賞

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 I		実務授業の有無	×
担当講師	金相範/平川真由美/裴英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース/K-POPダンス・ヴォーカルコース

授業概要	<p>ハングルの仕組み、基本発音を学び、基本的な日常会話までできる事を目指す。 また、基本的な日常会話で使われる文法を理解する。 レベル別のクラス編成とし、各理解力に応じた授業展開をする。基本、「最新チャレンジ韓国語」を使用し、後期後半では進度により「ちょっとチャレンジ」を進めてもよい事とする。 検定前には検定対策を実施。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語授業ガイダンス 第1課 ハングルの仕組み/基本母音と合成母音
2	第2課 基本子音(平音、激音、濃音の基本)
3	第3課 合成母音
4	第4課 パッチムと音の変化
5	第5課 私は～です 名詞の肯定文、否定文、疑問文/かしまった「です、ます」体
6	第6課 時間がありますか？有無をあらわす表現 物・家族・位置
7	第7課 それは何ですか？ これ、それ、あれ、だれの表現/質問して答える
8	第8課 日曜日は何をしますか？ うちとけた「です・ます」体/数字の表現
9	評価週 前期学んだ文法、語彙の習得度確認
10	第9課 何が好きですか？自分の好みやしたい事を表現する/場所を表す単語/変則活用
11	第10課 週末に何をしましたか？ 自分のした事を表現する(過去形/願望)
12	TOPIK 対策
13	TOPIK 対策
14	TOPIK 対策
15	第11課 明日は何をするつもりですか？ 予定や推測の表現/買い物をする時の表現、語彙
16	第12課 スープが冷たくておいしいです 自分の気持ちを表現する/様々な表現方法/形容詞
17	第13課 一度遊びに来てください 相手の意思をたずねたり、誘ってみる/可能・不可能の表現
18	後期学んだ文法、語彙の習得度確認
19	評価週 1年間学んだ成果確認

教科書等	<p>最新チャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子著/白水社) 進度に応じて、ちょっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔栄美著/白水社) 各レベル別に担当指導講師独自の教材を用いる事もある。 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	金相範/平川真由美/裴英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース/K-POPダンス・ウォークコース

授業概要	<p>「最新！チャレンジ韓国語」とシリーズ続編となる「もっとチャレンジ韓国語」を用いて学習する。日常的な場面で、自然に韓国語で会話できるようになる事を目指す。レベルにより一年次後半「ちよこっとチャレンジ」を学習した場合は重なる学習項目がある為、進度においては変更もあるものとする。検定前には検定対策を実施。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	1年次のおさらい 第1課 空港へ出迎え(先行動作/勧誘)(動詞・存在詞の現在連体形/時間・場所)
2	第2課 部屋探し(理由/推測/意思)(過程/条件/形容詞の現在連体形)
3	第3課 自己紹介(動詞の過去連体形/順序)(経験/時間の経過/願望)
4	第4課 ソンミンの家で(尊敬)(婉曲/紹介/説明)
5	第5課 帰り道(推測/傾向)(感嘆/変化)
6	第6課 百日記念日(列挙)(不可能)
7	第7課 引越しパーティの日(指示/理由・判断の根拠)(義務/状態の継続)
8	第8課 汽車に乗ってお出かけ(してくれる・してあげるの表現)(回想・反復・習慣・未完了の過去連体形)
9	評価週 これまで学んだ文法、語彙の習得度確認
10	第9課 村の風景(原因・理由)(見た目での推量/打消し・禁止)
11	第10課 ソンミンさんを訪ねて(不可能/禁止・命令)(アドバイス/前置き・根拠)
12	TOPIK 対策
13	TOPIK 対策
14	TOPIK 対策
15	第11課 下宿に帰って(間接話法)
16	第12課 診察を受ける(感心/推量や意思を根拠にした理由)(許可/禁止)
17	第13課 和解(強い主張/間接話法の疑問文)(体験/パンマル)
18	第14課 悲しみよ、さようなら(予断・思い込み)(意図)
19	評価週 2年間学んだ成果確認

教科書等	<p>ちよこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔榮美著/白水社) 進度に応じて、ちよこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔榮美著/白水社) 各レベル別に担当指導講師独自の教材を用いる事もある。 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>授業理解度(50%) 学習意欲(30%) 提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語 I		実務授業の有無	×
担当講師	朱 貞淑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース

授業概要	<p>パソコンのハングル入力環境設定やキーボードの打ち方などの基礎から始まり、ビジネス上のメールのやり取りに必要なとされる表現を学習し、韓国語を使う業界に必要なビジネス韓国語を学んでいく。「한컴타자연습」プログラムを用いて楽しくパソコンでハングルの打ち練習をじっくり取り組みながら、韓国語表現と韓国語でのコミュニケーションスキルの基本を身に付ける。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①ガイダンス ②韓国語のキーボード入力方法の基本と「한컴타자연습」使い方を学ぶ。
2	①覚えておきたい単語 ②ハングルタイピング練習
3	①覚えておきたい単語 ②ハングルタイピング練習
4	①書き出し・挨拶の言葉 ②ハングルタイピング練習
5	①本文(感謝・謝罪) ②ハングルタイピング練習
6	①本文(依頼・アポイント) ②ハングルタイピング練習
7	①本文(通知・連絡) ②ハングルタイピング練習
8	①結びの言葉 ②ハングルタイピング練習
9	①実用例文 ②これまでの学習のまとめ、習得度の確認
10	①実用例文 ②ハングルタイピング
11	①実用例文 ②ハングルタイピング
12	①実用例文 ②ハングルタイピング
13	①実用例文 ②ハングルタイピング
14	①実用例文 ②ハングルタイピング
15	①実用例文 ②ハングルタイピング
16	①実用例文 ②ハングルタイピング
17	①実用例文 ②ハングルタイピング
18	①実用例文 ②ハングルタイピング
19	①実用例文 ②これまでの学習のまとめ、習得度の確認

教科書等	なし。講師によりプリントや教材を準備して進める。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	黄 仁祚/裴英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース

授業概要	1年次学んだ基礎を応用して、この講義では様々なビジネス場面で使われる作文の表現を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 レベルチェック
2	実用文練習①
3	実用文練習②
4	実用文練習③
5	実用文練習④
6	短文練習①
7	短文練習②
8	短文練習③
9	短文練習④
10	調査結果説明文練習①
11	調査結果説明文練習②
12	調査結果説明文練習③
13	調査結果説明文練習④
14	長文練習①
15	長文練習②
16	長文練習③
17	長文練習④
18	長文練習⑤

教科書等	なし。講師によりプリントや教材を準備して進める。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	K-POP総合ゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	小林美奈子/ゲスト講師		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース

授業概要	<p>K-POPに特化した特別講義 音楽業界でK-POPは今や世界的にも一つのジャンルとして確立している。その業界を目指す為には韓国を知り、世界視野で物事を見る事のできるようになる必要がある。ここでは感覚的に知っているだけではなく、理論的に発表したり、行動する力を養う事を目的とする。授業は特別ゲストを招いた講義をメインに、実践を交えて展開し、最終的に研究成果としてのプレゼンテーションまでを導く。 特別ゲストの調整により回数、開催日時、講座内容は変更あるものとし、開催決定毎に随時案内する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	K-POP業界を目指す為にまず何をすべきか考える。目標の設定 韓国企業研究①
2	韓国留学セミナー
3	韓国伝統と文化(特別講師)
4	韓国のメイク、カルチャー(特別講師)
5	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
6	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
7	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
8	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
9	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
10	K-POP業界を目指す為に、何をすべきか考える(目標の再確認) 韓国企業研究②
11	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
12	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
13	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
14	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
15	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
16	プレゼンテーション発表①
17	プレゼンテーション発表②

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	学習意欲(50%)課題遂行能力(50%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとにK-POP系特別講師・企業である。 (2022年度例) 韓国進路教育院、(株)ノースエレメンツ、STUDIO MARU、元ユジン氏、(株)CooGee 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティング I		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶/塩田美月(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース オンラインK-POPビジネスコース

授業概要	コンサート・ライブビジネス、マネジメント、プロダクションの基本知識を学ぶ。エンタテインメント業界やイベント業界の仕組み・業界の仕事(職種)など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽やイベントエンタテインメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界、あたらしいエンタテインメント業界についても知識を学ぶ。 前期には「SummerReview」後期には「GrandConcert」に向けての企画・制作・運営計画も含む。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽・イベントエンタテインメントビジネスとは？「音楽・イベントエンタテインメントビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。
2	①アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏)
3	②アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏)
4	①実際に実施されるイベントへの参加に向けた、イベント企画制作と計画 (ライブポート東氏予定)
5	②実際に実施されるイベントへの参加。運営業務を元に実地で学ぶ (ライブポート東氏予定)
6	①プロダクションによる講義。プロダクション業務やアーティスト育成・マネジメントについて学ぶ。
7	②プロダクションによる講義。プロダクション業務やアーティスト育成・マネジメントについて学ぶ。
8	【ファンクラブ(サービス)】について。ファンクラブ運営の仕事を知る。WEBとSNSなどを使用した展開について。
9	前期授業の振り返り、まとめと後期授業内容予定の説明。テスト
10	後期1回目。前期までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。前期の振り返り。
11	①ユーチューバーによるマーケティング講義 チカコホンマさん(予定)
12	②ユーチューバーによるマーケティング講義 チカコホンマさん(予定)
13	①アーティストマネージャー経験のある講師による、プロモーション知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏予定)
14	②アーティストマネージャー経験のある講師による、プロモーション知識の習得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏予定)
15	①実際に実施されるイベントへの参加に向けた、イベント企画制作と計画 (ライブポート東氏予定)
16	②実際に実施されるイベントへの参加。運営業務を元に実地で学ぶ (ライブポート東氏予定)
17	振り返りのグループワーク・フォードバック等

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	登壇講師 NEWSURPRISE LLC.吉原氏(元コンサルティング会社代表、過去にアーティストマネージャー経験あり) 株式会社ライブポート東氏(現イベント会社代表。新潟県内で多くのイベント事業を手掛ける) ユークリッドエージェンシー石森代表(現音楽プロダクション代表) 吉本興行所属新潟住みます芸人、ユーチューバーのチカコホンマさん

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブプロモーションⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	椎葉克宏		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース

授業概要	現在日本の音楽ビジネスはライブが牽引してきましたが、その流れは今後も続くと予想されます。この授業ではそうした音楽業界の流れに適應できるよう、ライブプロモーションの仕組みを理解することをめざします。プロモーションの手法を身につけることで、それを自らの強みにしてください。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【音楽業界のあゆみ①】 音楽ビジネスの過去
2	【音楽業界のあゆみ②】 ライブに支えられている現在の音楽業界
3	【音楽業界のあゆみ③】 自分たちより下の世代は何を考えている？
4	【ヒットとはなにか？①】 80年代のCity Popが注目される理由
5	【ヒットとはなにか？②】 90年代プロデューサーの時代の音楽
6	【ヒットとはなにか？③】 2010年代K-POPが日本にもたらしたもの
7	【ヒットとはなにか？④】 配信系アーティストはなぜ増えたのか？
8	【必要とされる人材①】 ライブの現場を見てみよう
9	【必要とされる人材②】 ライブビジネスと法律
10	【必要とされる人材③】 コミュニケーションの方法
11	【必要とされる人材④】 コンプライアンスとは何か？
12	【アーティストと共に①】 アーティストのセルフマネジメントとは？
13	【アーティストと共に②】 プロモーションとは何か？
14	【アーティストと共に③】 プロモーションの種類
15	【アーティストと共に④】 適切なプロモーションの方法
16	【アーティストと共に⑤】 アーティストのリスクについて
17	講義の振り返り

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	株式会社コロンブスコミュニケーションズ入社(S60年4月～S61年10月) 株式会社勁文社 ビデオ事業部(S61年10月～S62年3月)「月刊デ・ビュー」副編集長(H5年1月～H8年1月) オリコン株式会社に転籍 「キッズスタイル」事業部長(H14年7月～H19年7月)「オリジナルコンフィデンス」兼任編集長 令和2年4月 京都芸術大学映画学科、昭和音楽大学音楽表現学科、日本経済大学芸創プロデュース学科、代々木アニメーション学院の非常勤講師として勤務

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デジタルマーケティング		実務授業の有無	○
担当講師	小野憲人		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース

授業概要	<p>インターネット時代に音楽アーティストに関わるうえで、必要となる考え方、ツールの活用法、事例から学ぶ効果的なプロモーション方法などを学ぶ。 また、デジタル時代における最低限の音楽ビジネス知識、著作権の考え方などについても学ぶ。 また、Grand Concertに向けてのSNS運用を行いながら、当事者意識をもって実際のSNSの運用を考えていく。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マーケットの現状と、インターネット時代に考えなくてはならないこと。
2	音楽ストリーミングサービスについて。仕組みとビジネスの仕組み。ディストリビューターの役割について。
3	「知ってもらい、聴いてもらう」ためのアーティスト運営。ストリーミング再生を促すための取り組み。キャンペーン。
4	GW明け。振り返りと、アナリティクスツールの活用。
5	音楽サービスとしてのYouTube。
6	【インターネット時代の権利ビジネス】原盤権と著作権
7	【インターネット時代の権利ビジネス】楽曲をカバーしたいとき、どうすればよい？
8	【インターネット時代の権利ビジネス】楽曲をカバーしたいとき、どうすればよい？
9	前期授業の振り返り。中間試験。
10	前期授業の振り返りと、提案アルゴリズムに対する理解。PRE SAVE / PRE ADDの必要性。
11	UGCの重要性、誘発する仕掛け：CANVAS。Instagram Reels, YouTube Shorts ショート動画プラットフォームについて。
12	ニューリリースに向けてのスケジューリングと準備。プレイリストの活用。データからヒット作の取り組みを見る。
13	YouTubeケーススタディ。続けるためのコンテンツ、長時間見ってもらうためのコンテンツ
14	インターネット広告について。
15	便利なまとめリンクの活用。SNS運用のお悩み相談。
16	授業内容の振り返り。ファンに対して丁寧に伝えることの大切さ。
17	Grand Concertに向けたSNS運用についてのワークショップ。

教科書等	なし 授業形態／対面授業 参考講座：IMCJ Independent Next 2023, YouTube Japan Creator Camp 2022, IMCJ New Standard Music Marketing 2022
成績評価	試験・課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	タワーレコード(株)レーベル制作部、(株)onepeaceにおいて、音楽アーティストのA&Rと、楽曲のデジタルディストリビューション、SNS運用を経験。その後フリーランスとなり、レーベルやマネジメント事務所に対してSNSを活用した音楽アーティストのプロモーションのサポートに従事。 2021年より新潟で柳都アーティストファームにてRYUTistを運営。SHOW!, i-MEDIAの非常勤講師も担当。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習 I	実務授業の有無	×
担当講師	中野和音/塩田美月	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	1 年	総授業時間	36 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科	対象コース	K-POPEジネスコース/オンラインK-POPEジネスコース

授業概要	Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Adobeソフトについて
2	②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて
3	③【基本操作】Illustrator基本操作の実践
4	④【基本操作】Illustrator基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
10	①【デザイン】演習問題
11	②【デザイン】演習問題
12	③【デザイン】演習問題
13	④【デザイン】演習問題
14	①【デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	IllustratorクイックマスターCG-問題集 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Photoshop検定講座		実務授業の有無	○
担当講師	藤崎 哲弥		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科	対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	Photoshop検定の対策講座。 前期では後期の問題集を解くための対策や基本的な使い方を覚えます。 実際にSNS等で見かけるコラージュ等の作品を通してより実践的に面白いツールであることを理解します。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション Photoshopの紹介・SNS等での使用事例・UI・ショートカットなどの紹介
2	■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。
3	■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。
4	■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。
5	■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。
6	■ネットミームを通して、特殊効果ツールを理解する。 文字、図形等の作成・グラデーションツールを理解する
7	■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。
8	■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。
9	■教科書内の出題を解いてみる 基本操作を覚えた上で教科書出題に挑戦・不明箇所を解説する。
10	■実技・実践問題集part1 実技・実践問題へ挑戦。
11	■実技・実践問題集part1 回答解説
12	■実技・実践問題集part2 実技・実践問題へ挑戦。
13	■実技・実践問題集part2 回答解説
14	■休憩・名刺・コラージュ作品を作ってみる 自発的な制作を通して、問題集を解くだけでなく実践的な制作・創作感を体感する。
15	■実技・実践問題集part3 実技・実践問題へ挑戦。
16	■実技・実践問題集part3 回答解説
17	■実技・実践問題集part4 実技・実践問題へ挑戦。
18	■実技・実践問題集part4 回答解説・全体のおさらい。

教科書等	Photoshop教科書・問題集 問題集冒頭ページなどに書かれている規定のフォントはダウンロードしておくこと。
成績評価	各作業進捗20%、授業態度および学習意欲80% 授業を重ねるごとにできることが増えていることが大事です。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ECサイト・WEBデザインの業務に3年従事。 個人でもコラージュ作品を制作してNFTなどを通じた現代的な作品掲示をしている。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ラジオ番組制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	(株)BSNウェブ 島澤弘晃 / 齋藤希	講義実施時期	前期・後期	
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科	対象コース	36	時間
			コンサート・ライブスタッフ 芸能マネージャーコース	

授業概要	ラジオ番組の制作を通し、企画立案力・制作力・ゲストブックイング・業界体験・プロモーション力を学ぶ。 メンバーソナリティに吉本住みます芸人「いっすねー！山脇」氏を起用。 制作した番組はBSNラジオで「GGラジオ」として毎月最終日曜日25時～26時に放送します。 毎月番組のテーマに沿って企画・構成・制作、出演ブックイング等をセクションごとに分け、運営を行う。 通常授業時間外であっても、番組の制作活動は進行する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の趣旨・意義・ラジオ媒体と放送業界の説明。 ①講師自己紹介 ②ラジオ業界について ③番組制作という仕事について ④制作スケジュール説明
2	①新2年生からの引き継ぎ ②各担当者決定。収録準備（スタジオ使用方法等）
3	先輩制作番組の確認、感想。GW前、説明と課題提示。①収録準備（スタジオ使用方法等）②ゲストブックイング 内容：番組紹介（中井佑香ライブ告知等）
4	GW明け 5月分収録原稿作成、実践～指導
5	①5月分 番組収録
6	①5月分検聴&反省会 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導
7	①6月分搬入作業 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導 ④7月分番組内容決定～原稿作成。 6月後半～8月末までのスケジュール説明。9月後期授業開始にあたっての説明と課題提示。
8	①前期授業の振り返り ②番組新企画案発表 ③後期授業説明 ④10月分原稿確認
9	①10月分収録～編集課題 ②11月内容ミーティング
10	①10月分チェック～搬入 ②11月分企画会議 ③原稿チェック
11	①11月分番組内容決定 ②原稿作成 ③チェック&修正
12	①11月分収録 ②編集講座
13	①11月分反省会 ②編集課題確認 ③12月分内容ミーティング
14	①グラコン向け PRO TOOLS素材作り講座 ②グラコンプロモーション企画会議 ③原稿確認
15	①12月分収録 / 1月分内容ミーティング
16	①12月分編集課題確認 ②番組搬入
17	①業界就職についてのディスカッション
18	①1月分編集課題確認 ②収録 ③番組搬入 ②2月分編集課題確認 ②収録 ③番組搬入 評価

教科書等	教科書は使用せず。ホワイトボード、PC画面投影等で行う。
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2000年より都内でラジオ番組制作を担当、各番組制作、各種イベント企画・制作・運営を行い25年目を迎える。 2020年6月まではFM PORTにて。FM PORT閉局後はBSNウェブに移籍しBSN新潟放送の各ラジオ番組を担当。 趣味が高じてアウトドア専門番組の立ち上げ、2023年には津南町でのキャンプフェス「山とWANDER」、 2024年には柏崎で開催したキャンプ&野外音楽祭「森ゆれる」の立ち上げ運営なども担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース

授業概要	<p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験、実技試験(判断等試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。</p> <p>後期は学生自身が制作、オペレート、出演するLIVEを実施。校内の備品を使いながら実習を中心に進める。生徒にはそれぞれの作業を経験してもらい、お互いどのような気持ちや考え方でやっているか理解してもらいイメージを共有することも目的である。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について
2	学科試験対策(1. 舞台一般)
3	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
4	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
5	学科試験対策(3. 電気)
6	学科試験対策(4. 関係法規)
7	学科試験対策(5. 安全衛生)
8	ヒアリング試験(判断等試験)対策(楽器の名称、音について)
9	まとめ(不足箇所重点)
10	音響基礎① モニター環境を整えてみよう(モニターから音を出してステージの中音を作る)
11	音響基礎② 基本的なバンドのセッティングを仕込もう(結線、回線チェック、マイキング等)
12	照明基礎① 基礎実習(機材説明、シユート、オペレート)
13	楽器の使い方 ギターアンプやベースアンプ等の説明 ドラムセットの名称や組み方 資料説明 セット図、タイムテーブル、回線表等の解説
14	LIVE発表に向けてミーティング 役割分担決めやセット図、タイムテーブル、回線表等の資料作成
15	リハーサル① LIVE発表に向けてリハーサル
16	LIVE発表① 作成したタイムテーブル通りに、仕込み→リハー本番→バラシの一連の流れをやってみる LIVE発表② 前回と同じことを別の役割で再度行う
17	1年まとめ 感想レポートと授業アンケート
18	
19	

教科書等	<p>公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」</p> <p>授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>前期:試験結果:60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40%</p> <p>後期:技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SNSマーケティングⅠ		実務授業の有無	○	
担当講師	MAD PRODUCTION(石村・五十嵐・中西)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	選択必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34	時間
対象学科	映像デザイン科		対象コース		

授業概要	SNSのトレンドを知り、自身で発信できるスキルを身に着けます
------	--------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	SNSの種類(中西・五十嵐)
2	SNSの機能・トレンド(中西・五十嵐)
3	SNSのリテラシーとモラル(中西・五十嵐)
4	SNSのマネタイズ方法(中西・五十嵐)
5	SNS投稿テクニック(中西・五十嵐)
6	ショート動画の特徴とアカウント作成(五十嵐・中西)
7	ショート動画企画・撮影(石村・五十嵐)
8	ショート動画編集・投稿(五十嵐・石村)
9	ショート動画分析・企画作成(五十嵐・石村)
10	ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐)
11	ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐)
12	ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐)
13	ショート動画 撮影・編集実習(石村・五十嵐)
14	ショート動画 撮影・編集・投稿 実習(石村・五十嵐)
15	ショート動画 撮影・編集・投稿 実習(石村・五十嵐)
16	ショート動画 撮影・編集・投稿 実習(石村・五十嵐)
17	1年間の振り返り・まとめ

教科書等	教科書は無し、都度モニターに映写等をして説明していきます。
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	石村:映像制作会社MADPRODUCTION代表。カメラマン歴20年 中西:株式会社papapa marketing代表。大手企業へSNSマーケティングを中心としたコンサルティング会社を経営。 五十嵐:LEL株式会社にてTik Tok運用代行動画撮影・編集・投稿等の代行を担う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス経営学		実務授業の有無	×
担当講師	早福俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	52
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース

授業概要	<p>簿記のテキストを使用し、仕事に役立つ取り引きの種類、売上総利益、損益分岐点などから精算表を作成し損益計算書及び貸借対照表の見方まで学び、実際の数値入力練習から、知識のレベルアップを図る。また理解度向上の為毎週確認テストを実施 授業展開は自作のPPとテキストを併用</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。 上記確認テスト
2	動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。 上記確認テスト
3	商品売買の種類、現金と通貨代用証券について① 上記確認テスト
4	商品売買の種類、現金と通貨代用証券について② 上記確認テスト
5	小口現金の取り扱いについて 上記確認テスト
6	手形と貸付金・借入金 上記確認テスト
7	その他の債権債務、その他消耗品等の費用について 上記確認テスト
8	商品有高帳①先入先出法(売上総利益・原価率) 上記確認テスト
9	商品有高帳②移動平均法 上記確認テスト
10	貸倒れと貸倒引当金① 前期評価テスト
11	貸倒れと貸倒引当金② 上記確認テスト
12	固定資産と減価償却費① 上記確認テスト
13	試算表①/試算表② 上記確認テスト
14	法人税・消費税 上記確認テスト
15	精算表①(棚卸減耗損・商品評価損についても)/精算表②/精算表③ 上記確認テスト
16	損益分岐点説明・練習、グラフ作成
17	資金繰り表作成①
18	後期評価試験 資金繰り表作成②

教科書等	<p>スッキリわかる日商簿記3級 授業形態/PPを使用したの対面授業</p>
成績評価	<p>授業内小テスト40%、期末試験40%、出席率20% S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント企画制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース

授業概要	オープンキャンパス、学校・外部イベント、柳都オレンジスタジアム、キョードー北陸などをはじめとしたインターンシップへの参加と自主企画イベントの運営を実践を通して学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	インターンシップ・イベント企画などの実施
2	インターンシップ・イベント企画などの実施
3	インターンシップ・イベント企画などの実施
4	インターンシップ・イベント企画などの実施
5	インターンシップ・イベント企画などの実施
6	インターンシップ・イベント企画などの実施
7	インターンシップ・イベント企画などの実施
8	インターンシップ・イベント企画などの実施
9	インターンシップ・イベント企画などの実施
10	インターンシップ・イベント企画などの実施
11	インターンシップ・イベント企画などの実施
12	インターンシップ・イベント企画などの実施
13	インターンシップ・イベント企画などの実施
14	インターンシップ・イベント企画などの実施
15	インターンシップ・イベント企画などの実施

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

科目名	メディアプロモーション		実務授業の有無	○
担当講師	スワンブ		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	全コース

授業概要	SWAMP自身のアーティストとしての音楽活動をプロモーション、マーケティングしていく。楽曲のリリース、SNSなど、実際の素材を使用してマーケティングしていく。リリースイベントの企画・制作。レコーディングへの参加や、MVの撮影、グッズ展開など、音楽事業に関わるあらゆる面での企画と制作を実地で行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	「自己紹介・プラン発表」講師、生徒同士のコミュニケーションを図り、お互いの可能性を発表する口
2	「自己紹介・プラン発表」講師、生徒同士のコミュニケーションを図り、お互いの可能性を発表する口
3	昨年のライブ映像確認と再編集 4月～5月中にアップ
4	動画編集、SNSの動画アップについて議論
5	動画編集、アップの日程を決める
6	グッズについてアイデア出し、動画編集
7	グッズについてアイデア出し・企画・動画編集
8	リリースイベントのミーティング・企画書作成
9	リリースイベントのミーティング・企画・進行スケジュール作成
10	レコーディング・プロモーション動画を撮影
11	レコーディング・プロモーション動画を撮影編集の為の構成・企画
12	レコーディング・プロモーション動画編集と内容についてのディスカッション～修正 アルバムのデザイン案ミーティング
13	レコーディング・プロモーション動画編集と内容についてのディスカッション～修正 アルバムのデザイン案ミーティング
14	グッズについて企画
15	グッズについて企画・発表・ディスカッション
16	リリースイベントの実施の為のミーティング・プロモーション
17	リリースイベント実施
18	リリースイベントの振り返りとディスカッション

教科書等	
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	地方創生論			実務授業の有無	○
担当講師	齋藤 和利		講義実施時期	必修	
			必修・選択		
対象学年	2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース		

授業概要 地方創生論(ふるさと創生とメディア論、社会経済を学び知識教養を養い社会人として実践力を身に

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	●新潟の歴史地理文化・人物を学びニイガタを深く知る、日本の中の新潟県の位置立場を学ぶ
2	●新潟の歴史地理文化・人物を学びニイガタを深く知る、日本の中の新潟県の位置立場を学ぶ
3	●新潟の街の再生活活性化には何が必要か課外授業の後にレポートを企画・作成
4	●新潟の街の再生活活性化には何が必要か課外授業の後にレポートを提出
5	●メディアとは何かを最新事例等を交えて学ぶ。プロダクション業務についても学ぶ
6	●メディアとは何かを最新事例等を交えて学ぶ。テレビ・ラジオについても学ぶ
7	●社会人への準備～マナーと一般常識を学ぶ
8	●就職の為の知識とテクニックを実践教育する
9	●就職の為の知識とテクニックについてフィードバック・ディスカッション
10	●現在に於ける社会経済学(生成AI、AGI、経済や投資についての基礎知識)を学ぶ
11	●現在に於ける社会経済学(生成AI、AGI、経済や投資についての基礎知識)を学ぶ
12	①課外授業について⇒港町新潟巡り、新潟花街巡り、下町巡り、新潟街中探訪、新新潟駅周辺探訪
13	①課外授業について⇒港町新潟巡り、新潟花街巡り、下町巡り、新潟街中探訪、新新潟駅周辺探訪 レポートの作成と提出
14	◎課外授業について⇒新潟放送局各局巡り、行形亭、鍋茶屋、大橋屋、美術館、歴史博物館、文化の記憶館)
15	◎課外授業について⇒新潟放送局各局巡り、行形亭、鍋茶屋、大橋屋、美術館、歴史博物館、文化の記憶館)レポートの作成と提出
16	◎新潟資料映像や音楽ビデオなども活用し視聴学習をしてレポート提出あり
17	☆学生へアンケートをして学びたい授業リクエストに答えて講義する。

教科書等	其々の授業で資料・ビデオ・DVD等を用意する
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	・BSN新潟放送 常務取締役営業本部長、BSNWAVE代表取締役社長、会長 ・県内大学等で特別講義の経験あり

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	雑誌編集・情報発信基礎	実務授業の有無	○
担当講師	風間彰充	講義実施時期	前期
		必修・選択	必修
対象学年	2 年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽ビジネス科	対象コース	

授業概要	<p>情報誌、ウェブというメディアの役割を理解し、それらが作られ、世の中に情報を発信するまでの一連の流れを学んでいく。また、新潟という地域におけるローカル雑誌やウェブメディアの重要性を学び、情報を発信することでユーザーの行動を促すことや、それ自身が地域を活性化させていく仕事の一部であることを理解してもらう。1回の講義では、基本的に1コマは座学、もう1コマでは実際に雑誌やウェブ記事の制作に必要な業務（企画・取材・インタビュー・写真撮影・原稿作成・校正等）を</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロ】→講義の概要、目的を説明 【雑誌・ウェブメディアの基礎知識】→どうやって成り立っているかを知る
2	【雑誌・ウェブメディアの役割】→雑誌メディアのニーズや世の中における役割などを学ぶ
3	【雑誌・ウェブメディアができるまで】→雑誌が作られるまで、情報が発信されるまでの流れを学ぶ
4	【雑誌・ウェブメディアの企画・特集などの立案について】→「雑誌の企画や特集記事などはどのようにして作られるのか？」読者のターゲティング、そのニーズやトレンドに合わせた企画立案を学んでいく
5	【実践】→雑誌のコンセプトや特集などを決める企画のディスカッションをやってみる
6	【具体的なページコンテンツ出し・取材候補策定】→「具体的な特集やページのコンテンツはどのようにして作られるか？」雑誌のコンセプトに沿って、具体的なページを想定していく
7	【実践】→「実際に何を掲載するか？」をディスカッションする。そしてページコンテンツ出し・取材候補をリストアップしていく
8	【取材について】→「実際の取材はどのようにして行われているか？」アポイントの基本、取材相手から大事な話を引き出すにはどうしたらよいか？
9	【実践】→インタビュー。テーマを決めて、交互にインタビューをする
10	【原稿書きについて①】→「原稿を書く時の基本とは？」説得力のある文章の書き方。分かりやすく、メッセージを伝える方法など 【実践】→実際に原稿を書いてみる
11	【原稿書きについて②】→雑誌とウェブにおける書き方の違い 【実践】→実際に原稿を書いてみる
12	【原稿書きについて③】→雑誌とウェブにおける書き方の違い 【実践】→実際に原稿を書いてみる フィードバック
13	【写真撮影について①】→「雑誌やウェブにおける写真の重要性と、その基本とは？」どんな写真がよいのか？ 写真が持つ意味、よい写真の基本的な撮り方を学ぶ
14	【実践】→可能な限り、カメラで撮影をする
15	【写真撮影について②】→スマートフォンを使い、街に出てカメラで撮影をする
16	【前期のまとめ・実践】→前期の学びを踏まえ、テーマを決めて実際に取材や写真撮影、原稿書きを行う
17	振り返り・フィードバック

教科書等	毎回、資料を用意する
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟の情報誌「月刊にいがた」および、新潟のローカルWEBメディア「月刊にいがたWEB」を発行・運営する株式会社ジョイフルタウンの業務推進部 副部長。編集ディレクター、インタビュアー、ライター、カメラマン。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像デザイン		実務授業の有無	○
担当講師	まがらかおり		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	映像デザイン科		対象コース	映像デザイン科

授業概要	映像制作の基礎スキルの習得。
------	----------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	1・2年:デザインとは何か 1年:自己紹介と自己分析(好みの映像を知る→得意分野に繋げる下準備) 2年:映像制作の基礎を知ったうえで、自分の得意分野を知る
2	1年:CGソフトを扱う上でのPCスペックについてと実際ソフトに触ってみる 2年:1年目の復習→トランスフォーム・カメラ・エフェクトを使って簡単なモーションCG
3	1年:CGソフトを扱う上でのPCスペックについてと実際ソフトに触ってみる 2年:1年目の復習→トランスフォーム・カメラ・エフェクトを使って簡単なモーションCG
4	1年:映像制作の基礎知識、タイムラインとキーフレームの関係性など 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(作りたい作品の制作についての分析)
5	1年:映像制作の基礎知識、タイムラインとキーフレームの関係性など 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(作りたい作品の制作についての分析)
6	1年:映像制作の基礎① 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(できそうであればプロット作成)
7	1年:映像制作の基礎② 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(できそうであればプロット作成)
8	1年:映像制作の応用① 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(全体構成)
9	1年:映像制作の応用② 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(全体構成)
10	1年:映像制作の応用②と実務作品制作(テクノスクールさまにプロジェクションマッピング) 2年:実務作品制作(テクノスクールさまにプロジェクションマッピング) ※テクノスクールさまプロジェクションマッピングは9月を予定
11	1年:映像制作の応用②と実務作品制作(テクノスクールさまにプロジェクションマッピング) 2年:実務作品制作(テクノスクールさまにプロジェクションマッピング) ※テクノスクールさまプロジェクションマッピングは9月を予定
12	1年:映像制作の基礎① 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(できそうであればプロット作成)
13	1年:映像制作の基礎② 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(できそうであればプロット作成)
14	1年:映像制作の応用① 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(全体構成)
15	1年:映像制作の応用② 2年:ポートフォリオに入れる作品作成(全体構成)
16	1・2年:総集編
17	1・2年:総集編
18	1・2年:前期後期の総合授業

教科書等	なし(必要な場合はこちらで資料作成し、配布) 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施 参考:ビデオサロン、プレーン
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	テレビ制作会社勤務 3年/ブライダルビデオ制作会社 1年/報道CG制作会社 5年 映像フリーランス 2年[映画制作:エディター・CG・背景美術/スポーツ・バラエティ番組制作:CG、コンポジット等] テレビディレクター 2年

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像制作		実務授業の有無	○
担当講師	石村剛(MAD PRODUCTION)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34
対象学科	映像デザイン科		対象コース	時間

授業概要 映像撮影・編集の基礎を学び、サマーレビューの撮影で活躍出来る人材を育てる

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	各自自己紹介・映像制作の実情について・コミュニケーション・今後のプランについて 映像基礎実習(撮影・編集について)
2	映像基礎実習(撮影時のテクニック) 昨年度のサマレ・グラコンを参考に
3	映像基礎実習(撮影時のテクニック) 昨年度のサマレ・グラコンを参考に
4	映像基礎実習(撮影時のテクニック) 昨年度のサマレ・グラコンを参考に
5	映像基礎実習(スイッチャーのテクニック) 昨年度のサマレ・グラコンを参考に
6	映像基礎実習(スイッチャーのテクニック) 昨年度のサマレ・グラコンを参考に
7	映像基礎実習 機材準備について
8	サマーレビューに向けた役割決めと各役割の仕事内容について
9	昨年のサマーレビューの映像で振り返りを行ない、各自パートの動き・役割の確認
10	サマーレビュー撮影の振り返り(撮影時の反省等)
11	サマーレビュー撮影の振り返り(撮影時の反省等)
12	サマーレビュー撮影の振り返り(撮影時の反省等)
13	グランドコンサートの予習(昨年度の映像を参考に)
14	グランドコンサートの予習(昨年度の映像を参考に)
15	カメラ・ジンバルを使用して撮影テクニックを学ぶ①
16	カメラ・ジンバルを使用して撮影テクニックを学ぶ①
17	グランドコンサートに向けて役割決めとそれぞれの役割内容についての確認

教科書等	教科書は無し
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	映像制作会社MADPRODUCTION代表。映像制作会社代表(カメラマン歴20年)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像音響実習		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34
対象学科	映像デザイン科		対象コース	時間

授業概要	音声収録に関する基礎知識を学ぶ
------	-----------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	基礎知識編:映像作品における「音声」とは？/「音」と「音声信号」の基礎知識
2	マイクの基礎知識/レベルメーターの種類と原理
3	ワイヤレス(電波)の基礎知識
4	実践編:インタビューを録る/フィールド録音
5	ナレーション収録と編集
6	イベント収録における音声バックアップの方法
7	Adobe Premiere Proで実践する音のバランスを整える作業
8	音量レベルの基準「ラウドネス」/映像作品の「声」を聴きやすくする
9	まとめ。学習したもののおさらいと補足。
10	音声収録実習:ガンマイク収録
11	音声収録実習:ピンマイク
12	音声収録実習:ナレーション
13	音声整音実習:音声を聞きやすくする調整。波形処理をノイズ処理
14	音声整音実習:音声を聞きやすくする調整。イコライザー調整、コンプレッサー。
15	音声整音実習:音声レベルとメーター調整
16	音声収録を主体としたショート作品づくり1。Adobe Premiere ProでMAをする
17	音声収録を主体としたショート作品づくり2。仕上げ～提出。

教科書等	ビデオグラファーのための音声収録&整音ハンドブック
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ブライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(パンダスタジオ新潟)13年 SKYFINDER合同会社 経営7年

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	動画制作実習/MA実習		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34
対象学科	映像デザイン科		対象コース	時間

授業概要	映画やテレビ、動画での音響、サウンドデザインを学ぶ。
------	----------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。映画などを事例に映像におけるサウンドデザインとはを解説。
2	サウンドデザインの手順。目と耳を実践的に使ったサウンドデザインの基礎を学ぶ
3	サウンドデザインをクリエイティブに行うヒント。
4	音響学その1。音響の知覚について。
5	音響学その2。心身の能力と音の認知の関係からサウンドデザインのヒントを得る。
6	音楽の認知。音楽を最大に生かすために音楽の起源と仕組みを知る。
7	人の声について。セリフ以外の声にも非言語音声について知る。
8	音とストーリー。音楽や効果音を脚本に合わせて付けるには。
9	まとめ。学習したもののおさらいと補足。
10	サウンドデザイン実習1：脚本を読んで音を考察し、必要な音を考え、音のグループ分けをする。
11	サウンドデザイン実習2：サウンド・マップを考える。必要な音を用意する準備。
12	サウンドデザイン実習3：音楽を考える。音楽を用意する。
13	サウンドデザイン実習4：効果音と環境音を考える。効果音を用意する。(録る・探す)
14	サウンドデザイン実習5：セリフ、声を録る。
15	サウンドデザイン実習6：サウンドマップにもとづいて音の素材を並べる。プリミキシング。
16	サウンドデザイン実習7：最終ミックス
17	サウンドデザイン実習8：完成試写を行う

教科書等	Sound Design 映画を響かせる「音」のつくり方
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	フライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(パングスタジオ新潟)13年 SKYFINDER合同会社 経営7年

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	動画編集実習		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34
対象学科	映像デザイン科		対象コース	時間

授業概要 | DaVinci Resolveのオンライン講座を实践することにより編集作業の基礎を实践して学習する

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動画の原理:なぜ動いて見えるのかなど動画の基礎知識
2	モンタージュ:演出を伴った映像編集について学ぶ
3	モンタージュ:編集の練習。練習課題をつかってモンタージュを考える
4	構図について:構図とイマジナリーラインについて学ぶ。
5	撮影実践:何を撮っておくべきか。つなげやすいカット割を学ぶ。
6	編集実践:編集の基礎。長さ、タイミング、場面転換、タブーなどを学ぶ。
7	キーイング:クロマキー合成について学ぶ
8	映像制作工程について:プリプロ・ポストプロなど映像制作工程について学ぶ。
9	DaVinci Resolve 18 入門講座 #1 動画編集の基礎
10	DaVinci Resolve 18 入門講座 #2 オーディオ、エフェクト、タイトル
11	DaVinci Resolve 18 入門講座 #3 プライマリーカラーコレクション
12	DaVinci Resolve 18 入門講座 #4 セカンダリーカラーコレクション
13	DaVinci Resolve 18 入門講座 #5 グレードの管理
14	DaVinci Resolve 18 入門講座 #6 最初に確認すべき設定と素材の管理
15	DaVinci Resolve 18 入門講座 #7 音声編集の基礎
16	DaVinci Resolve 18 入門講座 #8 合成の基礎
17	DaVinci Resolve 18 入門講座 #9 ファイルの書き出しとプロジェクトの管理

教科書等	DaVinci Resolve 18 入門講座(ブラックマジックデザイン)
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ブライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(ハンダスタジオ新潟)13年 SKYFINDER合同会社 経営7年

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像企画制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	映像デザイン科		対象コース	

授業概要	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影、などをはじめとしたインターンシップへの参加と自主企画イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
2	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
3	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
4	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
5	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
6	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
7	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
8	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
9	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
10	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
11	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
12	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
13	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
14	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
15	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。
16	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。 撮影機材の管理・メンテナンス
17	オープンキャンパス体験レッスンサポート、学校・外部イベントの撮影・編集を実践を通して学習する。

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PA音響実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	富樫武志		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	68
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニア / 照明エンジニアコース

授業概要	基本的な機材の取り扱いと音響システムの概要を理解し、簡易音響システムの設置ができるようになることを目標とする。 現場で想定される音響以外の要素との連携を意識し、イベント実習やインターンでの対応力を身に着ける。
------	---

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
----	-------------------

前期	1	SHOWCASE!!常設システムの理解と簡易音響システムの概要を学ぶ ①主な用語の解説 ②コネクタの種類、使用用途など	PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース
	2	音響機材の扱い方について学ぶ ①各種ケーブル、スタンドの取扱いと設置時の注意点を学習する。 ②ミキサー、マイク等、各機器を扱うにあたっての注意点を学習する。	
	3	音響機材の名称、役割を学ぶ ①マイクロフォン、スピーカーの構造・特性について学習する。 ②ミキサー、グラフィックイコライザー、パワーアンプの役割について学習する。	
	4	ミキサーの機能を学ぶ ①アナログミキサーを使用して基本的な機能を学習する。 ②デジタルミキサーを使用して様々な音声処理を学習する。	
	5	電気信号の流れについて学ぶ ①各機器間における電気信号の違いとミキサーの役割について学習する。 ②機器間の接続について学習する。 ③SHOWCASE!!常設システムを図解で理解する。	
	6	モニターについて学習 ①モニタースピーカーを使用してサービスエリアごとに適したモニタリングについて学習する ②メインスピーカーとモニタースピーカーの調整法や音場について学習する。	
	7	カラオケステージをつくる ①簡易PAセットでのカラオケ演奏を想定した仕込み、オペレーションを通して一連の作業を理解する ②実際の現場を想定した適切な設定と拡声レベルを学習する。	
	8	<評価週> 実技テストとして簡易PAシステムの仕込みを行う	
	9	<評価週> 実技テストとして簡易PAシステムの仕込みを行う	
後期	10	スピーカーのチューニングについて学習する。 ①メインスピーカーとモニタースピーカーの音質補正について学習する。	PA音響エンジニアコースのみ対象
	11	電気の基礎について復習する。 ①電源の取り扱いについて学習する。 ②各機器の学習で触れた電気の基礎について復習し、理解を深める。	
	12	各図面、資料等の読み取り方、情報のまとめ方を学習する。 ①各図面や資料からの正確な情報を得るため用語や記号等を学習する。 ②音響資料を作成するうえで必要な情報や、見やすい、伝わりやすい記述について考察する。	
	13	転換を含むイベント形式の進行を学習 I ①様々な演目の転換を想定したプランニングと仕込みを学習する。 ②進行台本に沿ってPA転換の留意点を学習する。 ③サウンドロゴ、BGM、効果音等、イベントの中での音響効果を学習する。	
	14	転換を含むイベント形式の進行を学習 II ①様々な演目の転換を想定したプランニングと仕込みを学習する。 ②想定されるトラブル、事故への対処法や予防策を学習する。 ③舞台を想定して音響以外のセクションとの連携や全体の進行について学習する。	
	15	モニター分岐システムについて学習する。 ①独立したメイン、モニターシステムについて学習する。	
	16	ワイヤレスマイクの取り扱いについて学習 ①使用される電波の種類について学習 ②機器の取扱いについての注意点、ピンマイク、ヘッドセット等の特性について学習する。	
	17	簡易PAセットの仕込みを復習 ①1名で設営～システムチェック、撤去を行い作業工程の効率化や丁寧な現地設営を考える。	

教科書等	「基礎が身につくPAの教科書 PA入門 [改訂版]」 必要に応じて補足テキスト等を配布する
成績評価	評価週の試験30%、授業態度および学習意欲70% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2011年にサウンドエイト入社、県内外のフェスやテレビの公開収録、生放送の音響を担当・荒吐ロックフェス、ミリオンロックフェスティバル、のど自慢、新・BS日本のうた等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音響実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	熊倉 潤一		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	72 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	①授業の全体像 音響の基本を復習しその内容からオペレートに繋がる応用を学習する ②内容 各機器の使い方、システムプランの作成、打ち合わせなどチーフとして必要な知識を学習する ③到達目標 300人規模の中型イベントの音響プランを作成出来るようになる
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	中～大規模音響システムについて学習する。 SHOWCASE、プラクティス、柳都SCのシステムを図解で理解、アナログ、デジタルの違いを学習し、それぞれのメリット・デメリットを考える。 オーディオ・ネットワークを活用した音声のデジタル伝送について学習する。
2	柳都SCのPAシステムを復習し、アナログ・デジタルシステムを併用し、モニター卓の仕込みから回線チェックまで行う。
3	学校の機材のスペックを調べ、現場の規模にみあった機材の選定について考える。
4	音響プランニング① 学校の機材をつかって野外ステージの音響を考える。 それぞれ発表し良い所、悪い所について話し合う。
5	音響プランニング② 学校の機材をつかって野外ステージの音響を考える。 先週の授業の反省をふまえてもう一度考える。野外現場で注意すべきことなどに注目する。
6	実際に使われているタイムスケジュールを使い照明や楽器などの他セクションの動きを確認しながら仕込みを行い、ステージ転換の段取りを考える。
7	実際のバンドの回線表で仕込みを行い実際にバンドの音づくりをする①。 コンプレッサー、ノイズゲート、リバーブ、ディレイの復習。
8	実際のバンドの回線表で仕込みを行い実際にバンドの音づくりをする②。 リハーサルの流れ、進め方、の説明
9	テスト サウンドエイト作成の回線表で仕込みを行い、outチェック、回線チェック、スピーカーチューニング、リハーサルまで行う。
1	前期の復習 ①周波数、音場、エフェクターなどを理解しているか確認する。 ②サマーレビューでの反省点、課題を確認する。
2	チューニングについておさらい ①音場、周波数を考え、サウンドチェックを行う。 ②モニター卓を組み、メインスピーカーとの音の回り込みなどについて、確認する。
3	ステージマンとしての動きの応用① リハーサルの進め方、転換の注意点など
4	ステージマンとしての動きの応用② フェスの転換、など
5	デジタル卓を用いて、仮想イベントを作りあげる その① ①カラオケ素材を使い、デジタル卓でのPAを仕込む。 ②注意点など説明し、主に座学的に進めていく。
6	デジタル卓を用いて、仮想イベントを作り上げる その② ①#5の続きとして、進行も含め分担をする。
7	トラブル対策 仕込みの段階で、トラブル防止対策を考える。養生、電源の抜け止め、ケーブルの違わせなど 起きたトラブルに対する対処方法、ノイズ、ワイヤレスの混信、故障機材の特定など
8	実践的な授業 ①デジタル卓を使用する。ハウス、モニター、ステージチームに分けて、時間を意識した仕込みをする。
9	テスト サウンドエイト作成の回線表で仕込みを行い、outチェック、回線チェック、スピーカーチューニング、リハーサルまで行う。その後トラブルの対処が出来るかどうかのテスト

教科書等	1年次からひきつぎ「基礎が身につくPAの教科書 PA入門 [改訂版]」を使用。 必要に応じて補足テキスト等を配布する
成績評価	評価週の筆記試験50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2000年より Live House「Club Junk Box」にて音響オペレーター、ブックイング、マネージャーを担当、2010年よりLive House「GOLDEN PIGS」にてマネージャーを担当 2013年より株式会社サウンドエイトへ入社

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。実技試験(制作等作業試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。</p> <p>後期はより舞台の知識を深めながら、実際にホールに足を運び経験を積む。</p> <p>(この科目は、1年PA音響エンジニアコースと2年照明エンジニアコース合同で行う)</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ケーブル巻き練習
2	実技試験(制作等試験)対策
3	実技試験(制作等試験)対策
4	実技試験(制作等試験)対策
5	実技試験(制作等試験)対策
6	1人ずつ制作等作業試験のテストを行う
7	1人ずつ制作等作業試験のテストを行う
8	1人ずつ制作等作業試験のテストを行う
9	まとめ(不足箇所重点)
10	イントロダクション、振り返り～舞台の種類、ホール構造などについて
11	幕・道具などについて
12	舞台の床について
13	図面について
14	舞台制作におけるスタッフと役割について
15	ホールのシステム、区分、禁止行為解除等について
16	ホール見学(新潟音楽文化会館)
17	ホール見学(新潟音楽文化会館)
18	ホール見学(新潟音楽文化会館)
19	レポート作成

教科書等	<p>公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」</p> <p>授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>前期：試験結果：60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40%</p> <p>後期：技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	68 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブハウスでの仕込み～リハーサル～本番～撤収までの流れを経験する ・本番のオペレートを数多くこなす技術を養う ・出演者とのコミュニケーションの取り方を学ぶ ※ヴォーカル科と合同授業
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション: 授業の進め方について、担当分け、PA卓の設定
2	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
3	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
4	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
5	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
6	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
7	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
8	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
9	レポート提出
10	前期の振り返り、担当分け、PA卓の設定
11	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
12	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
13	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
14	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
15	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
16	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
17	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
18	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
19	レポート提出

教科書等	無し。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、課題レポート提出20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ポピュラー楽器基礎学 I		実務授業の有無	○
担当講師	藤崎 哲弥		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	16 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース、照明エンジニアコース

授業概要	<p>現代の音楽シーンで主に使われる楽器・機材への用語、理解を深めることでより実践的なPA・LAの作業ができるように指導していく。 また、機材トラブル等に即座に対応できる知識を身につける。 (この科目は、1年PA音響エンジニアコースと2年照明エンジニアコース合同で行う)</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション 主要楽器(Voマイク・ドラム・ギター・ベース・キーボード)の紹介
2	■マイクセッティング・Vo演出効果の紹介 接続から音出し、効果演出でのアーティストの要望事例を紹介。
3	■ギター・ベース 各楽器の特性(メーカー・ボディの種類・音色等)
4	■ギターアンプ・ベースアンプ アンプの種類・接続方法等
5	■キーボード・DJ・電子楽器の紹介 電子ピアノとシンセサイザーの違い・音色・接続方
6	■ドラムセット セッティング実践
7	■ドラムセット セッティング実践
8	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
9	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
10	■各楽器のセッティング ドラム・ギター・ベース・キーボードのセッティング実践

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	最終授業での実践度合50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コニカミノルタ等でPA業を10年以上従事。 個人事業でも作編曲・演奏、REC・MIX等の業務経験を重ねることで、プロのジャズミュージシャン、歌手、メジャーアーティストへの快適な演奏環境を提供している。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ポピュラー楽器基礎学Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	藤崎 哲弥		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	現代の音楽シーンで主に使われる楽器・機材への用語、理解を深めることでより実践的なPAの作業ができるように指導していく。 また、機材トラブル等に即座に対応できる知識を身につける。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション 主要楽器・機材(Voマイク・ドラム・ギター・ベース・キーボード・DJ)の紹介
2	■Voマイクのセッティング方法・モニターSPの研究マイク設定のチューニング、音作りでの事例紹介。
3	■ギター・ベース 各楽器の特性・メンテナンス方法(主なメーカー・ボディの種類・音色等)
4	■ギターアンプ・ベースアンプ・エフェクター アンプの種類・接続方法等・トラブルシューティング事例紹介
5	■その他電子楽器 キーボード・DJ・サンプラー等の楽器紹介・接続時の注意点など事例紹介
6	■ドラム セッティングの復習・ドラムメーカー・シンバルメーカーの紹介、音色の違い
7	■ドラム チューニング方法、ドラムヘッド交換等
8	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
9	■各楽器のセッティングドラム・ギター・ベース・キーボードのセッティング実践

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	最終授業での実践度合50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コニカミノルタ等でPA業を10年以上従事。 個人事業でも作編曲・演奏、REC・MIX等の業務経験を重ねることで、プロのジャズミュージシャン、歌手、メジャーアーティストへの快適な演奏環境を提供している。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音響基礎理論 I		実務授業の有無	○
担当講師	MOA INDUSTRY 柄澤 祐司		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	音響に関わる基礎理論のおさらいと、歴史を知ることによりこれから学んでいく最新の技術を学ぶための土台を作っていく。 いま主流となっている音響の技術とこれから未来の技術についても学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『音響や音声に関わる音響概論について』 ②聴覚の仕組みと音響に関わる理論を座学にて。
2	①メインテーマ『レイテンシーについて』 ②デジタル音響技術に必須となるレイテンシーについて座学にて。
3	①メインテーマ『PAスピーカーの種類と歴史①』 ②スピーカーの構造について詳しく解説。 ③ポイントソースとラインアレイの違いについて
4	①メインテーマ『PAスピーカーの種類と歴史②』 ②スピーカープロセッサの歴史を辿りながらPAスピーカーの目指すべき目標地点を座学にて。 ③フィルターとクロスオーバーの関係について
5	①メインテーマ『PAスピーカーの種類と歴史③』 ②音響のチューニングの歴史。 ③最新のチューニングとは
6	①メインテーマ『パワーアンプのプリセットデータについて』 ②ジョイアミーアにてメーカーのプリセットデータとフラットのデータを試聴比較。
7	①メインテーマ『最新のプロセッシング技術に触れる』 ②ジョイアミーアにてLakeProsseser(パワーアンプとコントローラー)に触れる。
8	①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる①』 ②ジョイアミーアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。
9	①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる②』 ②ジョイアミーアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。
10	①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる③』 ②ジョイアミーアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。

教科書等	なし
成績評価	課題素材(6-9の中で作る素材)提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟で音響業務を中心に音に関わって23年。 現在は音響の他に映像・音声・照明・制作など幅広くエンタテインメント業務に従事。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音響基礎理論Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	MOA INDUSTRY 柄澤 祐司		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	50 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニア

授業概要	音響の仕事に関わる目的と意識統一を図っていく。 FOH, FB, STAGEといったセクションの垣根を超えたチーム組織を作るための実習とする。 声の掛け合い、他照明・映像セクションとの連携や注意点なども織り込む。 技術を作り込むために一番大切な「時間」について掘り下げていく。 いま主流となっている音響の技術とこれから未来の技術についても学ぶ。
------	--

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
前期	1 イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『設営時間・調整時間・本番時間について』 ②他セクションとの動きに関して座学で理解を深める。
	2 ①メインテーマ『設営時間について』 ②会館や屋内会場、屋外会場に赴く前にどこまで事前準備をしていくかを掘り下げる。
	3 ①メインテーマ『調整時間について①』 ②会館や屋内会場、屋外会場にて何を意識して音響的に調整するかを掘り下げる。
	4 ①メインテーマ『調整時間について②』 ②会館や屋内会場、屋外会場にて何を意識して音響的に調整するかを掘り下げる。
	5 ①メインテーマ『本番時間について』 ②本番を行う際に音響的に考えることを統一する。
	6 ①メインテーマ『他セクションとの連携について』 ②照明さんや映像さんが何をしているのかを学び改めて「時間」の大切さについて学ぶ。
	7 ①メインテーマ『音響チームの連携について①』 ②今までの「時間の大切さ」を元にチームを2つ作り設営から本番までを行う。
	8 ①メインテーマ『音響チームの連携について②』 ②今までの「時間の大切さ」を元にチームを2つ作り設営から本番までを行う。
	9 ①メインテーマ『音響チームの連携について③』 ②今までの「時間の大切さ」を元に全員でチームを1つ作り設営から本番までを行う。
後期	10 イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『夏のイベントを終えてチームについての反省点をあげる』 ②サマーレビューをチームでこなした時の良かった点と悪かった点をあげ改善を図る。
	11 ①メインテーマ『パワーアンプのプリセットデータについて』 ②ジョイアミアにてメーカーのプリセットデータとフラットのデータを試聴比較。
	12 ①メインテーマ『最新のプロセッシング技術に触れる』 ②ジョイアミアにてLakeProsseser(パワーアンプとコントローラー)に触れる。
	13 ①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる①』 ②ジョイアミアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。
	14 ①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる②』 ②ジョイアミアにて最新Wedgeスピーカー(Clair)に触れる。
	15 ①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる③』 ②ジョイアミアにて最新Wedgeスピーカー(Clair)に触れる。
	16 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる①』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。音の違いについて
	17 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる②』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。シーンやデータといった構造の違いについて
	18 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる③』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。同じ音源でMIX作業を行う
	19 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる④』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。同じ音源でMIX作業を行う

教科書等	なし
成績評価	評価週の試験70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟で音響業務を中心に音に関わって23年。 現在は音響の他に映像・音声・照明・制作など幅広くエンタテインメント業務に従事。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明基礎知識 I		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	<p>教科書「舞台・テレビジョン照明 基礎編」をもとに照明の基礎を学ぶ。 2年間で以下のことを学ぶ。 オペレートに主眼がいているライヴハウスにおけるトラブルの場合それを処理できないことも多い。この授業はスポット・回路・調光システム・カラー等の基礎を学びそれらを知ることにより、正しい使用方法・トラブルに対する方法を理解する。前期は、舞台に関する仕事に就こうとする照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコースの生徒に知っておくべき用語の基礎から教える。後期は照明エンジニアコースの生徒のみ。</p>
------	---

授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など			
1	XIV 舞台用語	照明に関する用語		P185～P192
2	XIV 舞台用語	舞台・美術に関する用語		P185～P192
3	XIV 舞台用語	公演・演出に関する用語		P185～P192
4	IV 1. 舞台機構	1) 舞台の平面と断面		P35～P38
5	"	5) 舞台吊物機構	①幕類用吊物設備	P38～P40
6	"	"	"	P38～P40
7	"	"	②照明用吊物設備	P40～P42
8	"	6) 舞台床機構		P42P～P45
9	2. 舞台照明設備			P46～P50
10	V 舞台における照明の仕事			P51～P58
11	"			P58～P64
12	VI 仮設システムを使った照明の仕事			P65～P71
13	"			P71～P76
14	XIII 照明家に必要な基礎知識			P147～P154
15	"			P154～P161
16	"			P161～P169
17	"			P169～P177
18	"			P177～P184
19	XI 照明機器			P113～P128

PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同

照明エンジニアコースのみ対象

教科書等	舞台・テレビジョン照明 基礎編2021(発行:日本照明家協会) 舞台・テレビジョン照明 基礎編(発行:日本照明家協会)一部コピーを使用 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	範囲内の筆記試験 70%、授業態度および学習態度・知識欲・主体性30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1972年より照明エンジニアとして活躍 現在新潟照明技研株式会社 専務取締役 舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定 公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	<p>前期:照明操作卓(調光卓)、スポット、ケーブル等に親しみ、その操作方法・扱い方を学びながら、舞台照明そのものを学ぶ。基本になるのは安全である。(照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコース対象)</p> <p>後期:学生にとり、全てが新しい内容であるため、前期の内容を復習しつつその内容を深めていくことを目的とする。(照明エンジニアコース対象)</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Studio「Practice」の説明 吊り込み用器具:安全にスポットを吊り込むために、ハンガーに親しむ
2	レンズによる光の質の違いをみる
3	Practiceに設備されている機材の説明
4	Practiceの調光卓(Express 48/96) / ユニット / 回路の説明
5	サブマスターに シーン/チェイス記憶 ・修正を習得する
6	”
7	”
8	平凸・フレネルレンズを使用したスポットライトを使い光軸調整を習得する
9	舞台・テレビジョン照明現場において使用されるカラーフィルターを覚えよう
10	Effect(雪・雨・雲・ストロボ・ソースフォー)を仕込む
11	バトン仮設、サスバトンに見立てスポットを仕込む
12	”
13	ステージ回路を仕込む
14	”
15	Express サブマスター記憶
16	”
17	電源・電圧計算／実測 照度計算／実測
18	照明とデジタル信号
19	Grand Concertに向け、会場の明細説明

PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同

照明エンジニアコースのみ対象

教科書等	無し 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	<p>前期:美しい光を得るため、平凸レンズ・フレネルレンズを使用したスポットライトでの、光軸調整の成果をみる／後期:調光卓(Express 48/96)のサブマスターに、シーン/チェイスを記憶できること、修正できること、以上2点を見る 50%</p> <p>前期後期ともに:授業態度および学習意欲・主体性 50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍</p> <p>現在新潟照明技研株式会社 専務取締役</p> <p>舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定</p> <p>公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像機器基礎		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	音響・照明だけでなく映像機器の接続や再生に関わる知識を身に付けることを目的とする。例えばホテルの宴会場やホール等で、講演会や披露宴などが行われた際の機器の接続、持込みメディアの対応、パソコンの接続(ファイル形式等の対応)、映像投影機器の調整など作業が音響・照明スタッフが行うこともあるため、このような授業を設ける。また、映像と共にある音声についても触れていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション: 音響・照明と映像のかかわり、現代の映像について 映像の解像度とフレーム数、アスペクト比について
2	音声メディアと、映像メディア、テープの仕組み、ディスクの仕組みについて コピー防止のための仕組み、「-R」、「-RW」等について
3	アナログ/デジタル音声伝送方法とアナログ/デジタル映像伝送方法 クロック、同期、ジッタについて
4	映像レーテンシーについて(ビデオカメラを使っての実習) 映像切り替えについて(スイッチャーを使った実習)、クロマキー、Pict in Pictなどの特殊効果について
5	パソコン等でのファイル形式について(音声・映像) 非圧縮・ロッシェー圧縮・ロスレス圧縮について
6	サラウンド音声、イマーシブ・オーディオについて
7	サラウンド実習(サラウンドシステムを組み、映画等を比較してみる)
8	接続実習(Win, Mac, DVD等をプロジェクタ、モニタ等へ接続してみる) プロジェクタ、モニタ等の設定等も
9	PC接続: インターフェイス、USB、Thunderbolt等について
10	まとめ / 筆記テスト

教科書等	無し。 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	筆記テスト60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	オープンキャンパスの準備・リハーサルから本番・撤収を実習内容としながら、インターンシップ等への参加も単位として認め、音響・照明の様々なイベントを評価とする。様々なイベントへのスタッフとして参加し現場経験を多く積むことを目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
2	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
3	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
4	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
5	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
6	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
7	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
8	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
9	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
10	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
11	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
12	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
13	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
14	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
15	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
16	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
17	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
18	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
19	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加

教科書等	無し。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	インターンシップ参加願及びインターンシップ報告書の提出状況・記載内容、またはオープンキャンパスのスタッフとしての参加状況：100% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ムービング&LED照明実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 武治		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	68 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・照明業界において想像力豊かな発想力と技術を実際に機器に触れながら身につける ・校舎にあるライブハウスで実際に照明をプランし、オペレートをする ・様々なジャンルの音楽やダンスに対応できる素早いプラン力と技術を習得する ・私が教える事はあくまで一個人の意見でしかありません。演出照明は各個人の発想力しだいで無限の可能性を持っています。正解はありません。そこが一番この仕事の楽しいところです ただし、演出しすぎて演者よりも照明が前に出たはなりません。そういうところも学んでもらえればと思います
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
前期	1 調光卓の操作 接続とTitanの基礎
	2 調光卓の操作 パッチング
	3 調光卓の操作 デイマー/フィクスチャのコントロール
	4 調光卓の操作 パレット
	5 調光卓の操作 シェイプ
	6 調光卓の操作 キュー
	7 調光卓の操作 ショーの実行
	8 調光卓の操作 キューリスト1
	9 調光卓の操作 キューリスト2
後期	10 調光卓の操作 好きな曲で明かりを考える
	11 調光卓の操作 プログラムする
	12 調光卓の操作 実践披露
	13 調光卓の操作 好きな曲で明かりを考える
	14 調光卓の操作 プログラムする
	15 調光卓の操作 実践披露
	16 調光卓の操作 好きな曲で明かりを考える
	17 調光卓の操作 プログラムする
	18 調光卓の操作 実践披露
	19 調光卓の操作 まとめ

教科書等	無し
成績評価	2限目1人ずつ実際に触ってもらい何処まで理解しているのかを判断50%、授業態度50% (基本1限目は説明) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する
実務経験教員の経歴	2003年より新潟照明技研株式会社で照明エンジニアとして活躍 現在舞台照明課 係長

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ムービング&LED照明実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 武治		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・照明業界において想像力豊かな発想力と技術を実際に機器に触れながら身につける ・校舎にあるライブハウスで実際に照明をプランし、オペレートをする ・様々なジャンルの音楽やダンスに対応できる素早いプラン力と技術を習得する ・私が教える事はあくまで一個人の意見でしかありません。演出照明は各個人の発想力しだいであらゆる可能性を持っています。正解はありません。そこが一番この仕事の楽しいところです。ただし、演出しすぎて演者よりも照明が前に出てはなりません。そういうところも学んでもらえればと思います
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
前期	1 サマーレビュー 仕込プラン
	2 サマーレビュー パレット パッチ I
	3 サマーレビュー パレット パッチ II
	4 サマーレビュー パレット パッチ III
	5 サマーレビュー プログラム I
	6 サマーレビュー プログラム II
	7 サマーレビュー プログラム III
	8 サマーレビュー プログラム IV
	9 サマーレビュー プログラム V
後期	10 卒業制作 仕込プラン 役割分担
	11 卒業制作 プログラムの準備 I
	12 卒業制作 プログラムの準備 II
	13 卒業制作 プログラムの準備 III
	14 卒業制作 仕込み I
	15 卒業制作 仕込み II
	16 卒業制作 仕込み III
	17 卒業制作 仕込み IV
	18 卒業制作 仕込み V
	19 卒業制作 仕込み VI

教科書等	無し
成績評価	2限目1人ずつ実際に触ってもらい何処まで理解しているのかを判断50%、授業態度50% (基本1限目は説明) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2003年より新潟照明技研株式会社で照明エンジニアとして活躍 現在舞台照明課 係長

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Light Converse (L8) 実習		実務授業の有無	○
担当講師	菅原武治		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・今照明業界でなくてはならない舞台演出のシュミレーションソフトを使って実際に灯体や舞台を設営せずにプログラムする ・ライトコンバースという今世界で最も使われている照明のシュミレーターソフトの使い方を学ぶ ・ライトコンバースの仕組みを全員が理解し操作をマスターする ・ライトコンバースを使ってそれを実際に使いイベントのプログラムやプレゼンテーションに役
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	シュミレーションソフトはどんなときに使う物なのかを学ぶ
2	実際に起動して触って基本操作を覚える
3	舞台の背景の作り方を学ぶ
4	舞台のセットの作り方を学ぶ
5	作った舞台に照明を仕込む操作方法を学ぶ
6	夏のイベントのプログラム用に実際にその舞台を作る(背景と舞台の配置)
7	夏のイベントのプログラム用に実際にその舞台を作る(照明器具の配置)
8	夏のイベントのプログラム用に実際にその舞台を作る(照明のパッチ)
9	夏のイベントのプログラム用に実際にその舞台を作る(実機接続チェック)
10	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる(ホール作り)
11	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる(舞台作り)
12	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる(照明器具配置)
13	卒業制作に向けてそのためのプログラム用に舞台をつくる(照明のパッチ)
14	卒業制作 プログラム I
15	卒業制作 プログラム II
16	卒業制作 プログラム III
17	卒業制作 プログラム IV
18	卒業制作 プログラム V
19	卒業制作 プログラム VI

教科書等	無し
成績評価	テスト50%、授業態度50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2003年より新潟照明技研株式会社で照明エンジニアとして活躍 現在舞台照明課 係長

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明基礎知識		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	<p>教科書「舞台・テレビジョン照明 基礎編」をもとに照明の基礎を学ぶ。 2年間で以下のことを学ぶ。 オペレートに主眼がいているライヴハウスにおけるトラブルの場合それを処理できないことも多い。この授業はスポット・回路・調光システム・カラー等の基礎を学びそれらを知ることにより、正しい使用方法・トラブルに対する方法を理解する。前期は、舞台に関する仕事に就こうとする照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコースの生徒に知っておくべき用語の基礎から教える。後期は照明エンジニアコースの生徒のみ。</p>
------	---

授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など				
1	XIV 舞台用語	照明に関する用語		P185～P192	PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同
2	XIV 舞台用語	舞台・美術に関する用語		P185～P192	
3	XIV 舞台用語	公演・演出に関する用語		P185～P192	
4	IV 1. 舞台機構	1) 舞台の平面と断面		P35～P38	
5	"	5) 舞台吊物機構	①幕類用吊物設備	P38～P40	
6	"	"	"	P38～P40	
7	"	"	②照明用吊物設備	P40～P42	
8	"	6) 舞台床機構		P42P～P45	
9	2. 舞台照明設備			P46～P50	
10	V 舞台における照明の仕事			P51～P58	照明エンジニアコースのみ対象
11	"			P58～P64	
12	VI 仮設システムを使った照明の仕事			P65～P71	
13	"			P71～P76	
14	XIII 照明家に必要な基礎知識			P147～P154	
15	"			P154～P161	
16	"			P161～P169	
17	"			P169～P177	
18	"			P177～P184	
19	XI 照明機器			P113～P128	

教科書等	舞台・テレビジョン照明 基礎編2021(発行:日本照明家協会) 舞台・テレビジョン照明 基礎編(発行:日本照明家協会)一部コピーを使用 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	範囲内の筆記試験 70%、授業態度および学習態度・知識欲・主体性30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1972年より照明エンジニアとして活躍 現在新潟照明技研株式会社 専務取締役 舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定 公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明実習 I			実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34	時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース	

授業概要	<p>前期: 照明操作卓(調光卓)、スポット、ケーブル等に親しみ、その操作方法・扱い方を学びながら、舞台照明そのものを学ぶ。基本になるのは安全である。(照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコース対象)</p> <p>後期: 学生にとり、全てが新しい内容であるため、前期の内容を復習しつつその内容を深めていくことを目的とする。(照明エンジニアコース対象)</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Studio「Practice」の説明 吊り込み用器具: 安全にスポットを吊り込むために、ハンガーに親しむ
2	レンズによる光の質の違いをみる
3	Practiceに設備されている機材の説明
4	Practiceの調光卓(Express 48/96) / ユニット / 回路の説明
5	サブマスターに シーン/チェイス記憶 ・修正を習得する
6	"
7	"
8	平凸・フレネルレンズを使用したスポットライトを使い光軸調整を習得する
9	舞台・テレビジョン照明現場において使用されるカラーフィルターを覚えよう
10	Effect(雪・雨・雲・ストロボ・ソースフォー)を仕込む
11	バトン仮設、サスバトンに見立てスポットを仕込む
12	"
13	ステージ回路を仕込む
14	"
15	Express サブマスター記憶
16	"
17	電源・電圧計算/実測 照度計算/実測
18	照明とデジタル信号
19	Grand Concertに向け、会場の明細説明

PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同

照明エンジニアコースのみ対象

教科書等	無し 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	<p>前期: 美しい光を得るため、平凸レンズ・フレネルレンズを使用したスポットライトでの、光軸調整の成果をみる/後期: 調光卓(Express 48/96)のサブマスターに、シーン/チェイスを記憶できること、修正できること、以上2点を見る 50%</p> <p>前期後期ともに: 授業態度および学習意欲・主体性 50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍</p> <p>現在新潟照明技研株式会社 専務取締役</p> <p>舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定</p> <p>公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	72 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<p>1年時に習得した内容をより深いものにするため、前期・後期に分割せず通年の指導とする 本来ならば劇場。ホールに設備されているサスペンションを降ろし、仕込み図を読みながら正しいスポット・位置に吊り込み、カラーを入れ、バランスを考え、サスペンションを飛ばす作業になるが、この機構が無いためバトンを仮設して、近い作業を行う。ステージの仕込みに関しては劇場・ホールに近い内容を行える。タッパが無いため、操作棒の使用は限られる。 これらすべて安全を考慮し作業を教える。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	調光卓ETC Express 48/96を使用、Cue記憶の確認 以下随時ETC ColorSourceコンソールを習得
2	〃
3	イントレにバトンを仮設、スポットを仕込む
4	Effectを仕込む これまでの経験で、最大のウイークポイントとみている為、何度も繰り返す
5	仕込み図を読む
6	〃
7	バトン仮設、スポットを仕込む
8	〃
9	〃
10	Effectを仕込む EQS-10・EDM・ESM・ESC・OL4-6・SF-4(2種類)
11	ステージ回路の仕込み
12	〃
13	〃
14	調光ユニット、アナログ・デジタル
15	〃
16	デジタル回路を深める
17	課題に対するプランニング
18	〃
19	課題：試験

教科書等	無し 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	<p>課題をあたえ、プランニングしたものをExpress 49/96のCueを使用し再生する能力50% 授業態度・知識力および主体性50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍 現在新潟照明技研株式会社 専務取締役 舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定 公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	色彩学		実務授業の有無	×
担当講師	儀間 鴻太		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	照明エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、過去問題集を使い検定合格の為の知識を深める。 ・YouTubeでコンサートライブの動画を見て色の質感を実際に感じる。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	教科書
2	教科書
3	教科書
4	教科書
5	教科書
6	過去問題集
7	過去問題集
8	過去問題集
9	過去問題集
10	過去問題集
教科書等	公益社団法人色彩検定協会「色彩検定 公式テキスト 3級編」、「色彩検定 過去問題集 2020年度2・3級」、「色彩検定 過去問題集 2021年度2・3級」 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実践 I		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	72 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	学生作品のレコーディングを実際に経験し、レコーディング(ディレクション)⇒ミックス⇒マスタリング⇒納品までを仕事として経験することを目的に学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、ガイダンス
2	レコーディングエンジニアの仕事について、ミックス、マスタリングの仕事とは、音の違い。
3	レコーディング実習
4	レコーディング実習
5	レコーディング実習
6	レコーディング実習
7	ミキシング実習
8	ミキシング実習、マスタリング実習
9	前期まとめ、反省
10	授業概要説明、ガイダンス
11	レコーディング実習
12	レコーディング実習
13	レコーディング実習
14	レコーディング実習
15	ミキシング実習
16	ミキシング実習
17	マスタリング実習
18	後期まとめ、反省
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	72 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	<p>学生作品のレコーディングを実際に経験し、レコーディング(ディレクション)⇒ミックス⇒マスタリング⇒納品までを仕事として経験することを目的に学習する。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、ガイダンス
2	レコーディングエンジニアの仕事について、ミックス、マスタリングの仕事とは、音の違い。
3	レコーディング実習
4	レコーディング実習
5	レコーディング実習
6	レコーディング実習
7	ミキシング実習
8	ミキシング実習、マスタリング実習
9	前期まとめ、反省
10	授業概要説明、ガイダンス
11	レコーディング実習
12	レコーディング実習
13	レコーディング実習
14	レコーディング実習
15	ミキシング実習
16	ミキシング実習
17	マスタリング実習
18	後期まとめ、反省
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	64 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	録音に関するいろはを学び、レコーディング技術を活用出来るようになる。主に、マイクの種類と役割、使用方法。レコーディングの基礎知識。これらを習得して行きながら、レコーディング実習を出来るようになることを目指す。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション／レコーディングエンジニアの仕事とは
2	F7th Studio1についての機材紹介、他スタジオとの違い、各スタジオ紹介
3	マイクの種類、機能、音の違いなどの説明／マイクスタンドの扱い方
4	Pro Toolsについて①／オーディオデータのインポート
5	Pro Toolsについて②／簡単なヴォーカルレコーディング
6	Pro Toolsについて③／簡単なヴォーカルレコーディング
7	Pro Toolsについて④／ヴォーカルエディット
8	前期まとめ
9	後期イントロダクション／前期復習
10	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
11	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
12	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
13	各エディット作業
14	各エディット作業
15	各エディット作業
16	後期まとめ
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立～代表取締役。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	68 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	1年次に学んだレコーディングの技術をさらに応用し、さらに高いレベルでのレコーディング・エディット作業を学ぶ。 実際のエンジニアのレベルまで上げ、レコーディングスタジオへの就職を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション／レコーディングエンジニアの仕事とは
2	レコーディング実習
3	レコーディング実習
4	レコーディング実習
5	レコーディング実習
6	レコーディング実習
7	レコーディング実習
8	レコーディング実習
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション／レコーディングエンジニア募集状況について
11	レコーディング実習
12	レコーディング実習
13	レコーディング実習
14	レコーディング実習
15	レコーディング実習
16	レコーディング実習
17	レコーディング実習
18	後期まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立～代表取締役。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	ミキシングの基礎を学び楽曲の構造や演出の理解を深める。 基本的なプラグインの使い方を学び、デモ音源・楽曲のクオリティーを最大限に高める手法を習得する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 データ形式やミキシングについての基礎知識
2	参考トラックを用いたミキシング ヴォリュームとパン
3	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・コンプレッサー/ゲート
4	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽器別の周波数の特性)
5	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽曲全体での周波数の特性)
6	参考トラックを用いたミキシング AUXトラック、オートメーション、プラグイン・リバーブ、ディレイ
7	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・マキシマイザー、リミッター
8	課題トラックのミキシング ミックスダウン
9	課題提出 まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	プラグインの使い方の応用 複数のプラグインの組み合わせ サイドチェイン
12	マスタリングについての基礎
13	MIDIトラックの書き出し方
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング
16	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	課題50%、授業態度30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディング実習と連携し、学生作品のミキシングを行い、レベルを上げていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 1年次の復習
2	オリジナル曲のミキシング
3	オリジナル曲のミキシング
4	オリジナル曲のミキシング
5	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
6	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
7	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
8	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
9	前期まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨 前期の復習
11	オリジナル曲のミキシング
12	オリジナル曲のミキシング
13	オリジナル曲のミキシング
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
16	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
18	後期まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	課題50%、授業態度30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	スタジオワーク		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	32 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディングスタジオで勤務する上でのアシスタントの動きや仕事がスムーズにできるように、実践を通して学んでいく
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業導入、レコーディングスタジオのあり方、仕事内容説明
2	F7th Studioの説明、仕組み、マイクの種類や性能など
3	スタジオワーク
4	スタジオワーク
5	スタジオワーク
6	スタジオワーク
7	スタジオワーク
8	スタジオワーク
9	前期まとめ、テスト
10	後期授業導入、進路面談
11	スタジオワーク
12	スタジオワーク
13	スタジオワーク
14	スタジオワーク
15	スタジオワーク
16	後期まとめ
17	
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%、出席率50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Pro Tools実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディングの授業と連携し、Pro Toolsの使用方法をより深く学ぶ。 2年次に受験する「Pro Tools技術認定試験」Aランク取得に向けて、問題集に取り組む。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション: DAWとは? / レコーディング業界でのPro Toolsの現状 / この授業で何を習得するか
2	Pro Toolsの起動(Mac操作も含め) / 各ウインドウ / 再生 / トラック作成 / オーディオインポート / 保存 / 終了
3	編集ツール・モード / 拡大・縮小 / 編集機能
4	ミックスウインドウの主な機能 / プラグインについて / インサート系・センドリターン系エフェクトについて
5	録音 / プレイリスト / 再生モード / 録音モード / オーディオインターフェイス
6	素材録音～編集(リズムパターンの作成)～ミックス①
7	素材録音～編集(リズムパターンの作成)～ミックス② / テンポの変化 / エラスティックオーディオ
8	バウンス / PCMについて / 音声ファイル形式tについて / マーカー、メモリーロケーションについて
9	実技テスト:(録音、リズムパターン作成、ミックス、バウンス) / 筆記テスト
10	マスターフェーダートラック / クリックトラックの作成(プラグイン、オーディオ) / 表示について
11	トラックビュー / オートメーション(リアルタイム、編集ウインドウ、プラグイン) / 非アクティブ(トラック・プラグイン)
12	AudioSuite / グループ(トラック・クリップ) / 統合 / クリップエクスポート / クリップリストについて
13	設定(プレイバックエンジン、ハードウェア、セッション、I/O、ディスク割り当て)
14	ストリップサイレンス、Beat Detectiveを使った編集
15	Quick Timeムービーを使った編集・書き出し等について
16	後期課題作成:(イメージビデオインポート、オーディオ録音、MIDI入力、ビート編集、AudioSuite、プラグインを使ったMix、ビデオとして書き出す)
17	後期課題作成～提出
18	
19	

教科書等	なし 授業形態 / 対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題50%、授業態度30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Pro Tools基礎		実務授業の有無	×
担当講師	桑原 陽樹		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	Pro Toolsというソフトの導入・立ち上げ・使用方法を学び、レコーディング、ミキシングに関するショートカットやノウハウを学び、2年次受験の「Pro Tools技術認定試験」への対策も行う
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Pro Toolsの基礎、Pro Tools試験の概要、ショートカット、昨年の試験問題
2	Pro Tools問題集[初級]より: 概要、セッションとトラック、録音
3	Pro Tools問題集[初級]より: 編集、ミキシングの基礎
4	Pro Tools問題集[初級]より: プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート/エクスポート、MIDI
5	Pro Tools問題集[初級]より: 用語集・ショートカットなど 技術資料集
6	Pro Tools問題集[中級]より: 概要、セッションとトラック、録音
7	Pro Tools問題集[中級]より: 編集、ミキシングの基礎
8	Pro Tools問題集[中級]より: プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート/エクスポート、MIDI
9	Pro Tools問題集[中級]より: 用語集・ショートカットなど 試験対策: 過去問題
10	試験対策、過去問題
11	試験対策、過去問題
12	試験の答え合わせ、回答の解説
13	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
14	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
15	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
16	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
17	Pro Toolsを使用したレコーディング実習
18	まとめ
19	

教科書等	なし 授業形態 / 対面授業
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	動画制作実習/MA実習		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	映画やテレビ、動画での音響、サウンドデザインを学ぶ。
------	----------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。映画などを事例に映像におけるサウンドデザインとはを解説。
2	サウンドデザインの手順。目と耳を実践的に使ったサウンドデザインの基礎を学ぶ
3	サウンドデザインをクリエイティブに行うヒント。
4	音響学その1。音響の知覚について。
5	音響学その2。心身の能力と音の認知の関係からサウンドデザインのヒントを得る。
6	音楽の認知。音楽を最大に生かすために音楽の起源と仕組みを知る。
7	人の声について。セリフ以外の声にも非言語音声について知る。
8	音とストーリー。音楽や効果音を脚本に合わせて付けるには。
9	まとめ。学習したもののおさらいと補足。
10	サウンドデザイン実習1：脚本を読んで音を考察し、必要な音を考え、音のグループ分けをする。
11	サウンドデザイン実習2：サウンド・マップを考える。必要な音を用意する準備。
12	サウンドデザイン実習3：音楽を考える。音楽を用意する。
13	サウンドデザイン実習4：効果音と環境音を考える。効果音を用意する。(録る・探す)
14	サウンドデザイン実習5：セリフ、声を録る。
15	サウンドデザイン実習6：サウンドマップにもとづいて音の素材を並べる。プリミキシング。
16	サウンドデザイン実習7：最終ミックス
17	サウンドデザイン実習8：完成試写を行う

教科書等	Sound Design 映画を響かせる「音」のつくり方
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	フライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(パングスタジオ新潟)13年 SKYFINDER合同会社 経営7年

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	サンレコ・Pro Tools検定対策		実務授業の有無	○
担当講師	吉森 紫苑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	32 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	Pro Toolsというソフトの導入・立ち上げ・使用方法を学び、レコーディング、ミキシングに関するショートカットやノウハウを学び、2年次受験の「Pro Tools技術認定試験」への対策も行う
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／検定概要、合格ライン等説明、過去問演習
2	I 音響の基礎理論 概要説明 過去問演習
3	II 音響機器とスタジオシステム 概要説明 過去問演習
4	II 音響機器とスタジオシステム 概要説明 過去問演習
5	III レコーディング技術と先進技術 概要説明 過去問演習
6	III レコーディング技術と先進技術 概要説明 過去問演習
7	IV 音楽、音楽著作権、音楽録音の流れ、録音の歴史など 概要説明 過去問演習
8	IV 音楽、音楽著作権、音楽録音の流れ、録音の歴史など 概要説明 過去問演習
9	過去問演習 自己採点
10	Pro Toolsの基礎、Pro Tools試験の概要、ショートカット、昨年の試験問題
11	Pro Tools問題集[初級]より:概要、セッションとトラック、録音
12	Pro Tools問題集[初級]より:編集、ミキシングの基礎
13	Pro Tools問題集[初級]より:プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート／エクスポート、MIDI
14	Pro Tools問題集[初級]より:用語集・ショートカットなど 技術資料集
15	Pro Tools問題集[中級]より:概要、セッションとトラック、録音
16	Pro Tools問題集[中級]より:編集、ミキシングの基礎
17	Pro Tools問題集[中級]より:プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート／エクスポート、MIDI
18	Pro Tools問題集[中級]より:用語集・ショートカットなど 試験対策:過去問題
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度50%。学習意欲を50%をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	レコーディングスタジオ「ビクタースタジオ」にて1年半勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲制作実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	32 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	授業内で習得した音楽理論、ミキシングの技術をもとに、コンペティションなどを想定した楽曲の制作にあたる。課題を提示したり、自己の目標を立て授業を行っていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、課題確認、目標確認
2	課題曲① 制作
3	課題曲① 制作
4	課題曲① 発表
5	課題曲② 制作
6	課題曲② 制作
7	課題曲② 制作
8	課題曲② 発表
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション、課題確認、目標確認
11	オリジナル楽曲制作
12	オリジナル楽曲制作
13	オリジナル楽曲制作
14	オリジナル楽曲制作
15	オリジナル楽曲制作
16	オリジナル楽曲制作
17	オリジナル楽曲制作
18	オリジナル楽曲 発表 講評
19	後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲編曲実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一耀		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	32 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース/オンライン・通学併修作曲・編曲コース

授業概要	授業内で習得した音楽理論、ミキシングの技術をもとに、コンペティションなどを想定した楽曲の制作にあたる。課題を提示したり、自己の目標を立て授業を行っていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、課題確認、目標確認
2	課題曲① 制作
3	課題曲① 制作
4	課題曲① 発表
5	課題曲② 制作
6	課題曲② 制作
7	課題曲② 制作
8	課題曲② 発表
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション、課題確認、目標確認
11	オリジナル楽曲制作
12	オリジナル楽曲制作
13	オリジナル楽曲制作
14	オリジナル楽曲制作
15	オリジナル楽曲制作
16	オリジナル楽曲制作
17	オリジナル楽曲制作
18	オリジナル楽曲 発表 講評
19	後期まとめ

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲アナライズⅠ		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	32 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース/オンライン・通学併修作曲・編曲コース

授業概要	<p>編曲のクオリティー向上のため、様々な楽曲を分析しアレンジ方法を真似することで、そのスキルを自分のものにしていく。あらゆる楽器の音域・奏法などを実際耳で感じながらパソコンで再現できるよう学んでいく。DAWの基本的な操作方法も身につけ、グランドコンサートでの同期セッション作りができるよう学習する。前期は主に「楽器毎の奏法学習とその聴き取り」、後期は「1曲を選曲し全楽器耳コピー実習」をメインとして学んでいく。この授業の目標は、最終的にプロの曲を1曲選んで、自分で再現し、その曲内に使われているあらゆる技術を習得することである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の内容・目標・グランドコンサートでの作曲編曲コースの役割を説明。 DAWの基本操作習得と、ヴォーカルラインを聴き取りMIDI入力を練習する。
2	ベースの音を聴き取り、再現する。 ベースのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
3	ドラムの太鼓系の音を聴き取り、再現する。 ドラムのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
4	ドラムの金物系の音を聴き取り、再現する。
5	ピアノの音を聴き取り、再現する。 ピアノのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
6	ヴァイオリンの音を聴き取り、再現する。 ヴァイオリンのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
7	エレキギターを聴き取り、再現する。 エレキギターのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
8	管楽器の音を聴き取り、再現する。 3種類の管楽器のフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
9	シンセの音を聴き取り、再現する。 シンセのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
10	パッドの音を聴き取り、再現する。 パッドのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
11	各自1曲を選び、耳コピー作業を開始する。 セッション作りや、Tempo、マーカーとトラック設定など基本的なセッティングを確認しアドバイス。
12	耳コピー実習をする。 ベースラインの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
13	耳コピー実習をする。 ドラムの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
14	耳コピー実習をする。 パーカッションの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
15	耳コピー実習をする。 高域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
16	耳コピー実習をする。 中域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
17	耳コピー実習をする。 聞き逃してる音を確認しアドバイス。
18	耳コピー実習をする。 全体的なミキシングバランスとリバーブを確認しアドバイス。
19	耳コピー実習をする。 今までの作業内容を総合的に確認し、楽曲を完成できるようアドバイス。

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲アナライズⅡ		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース/オンライン・通学併修作曲・編曲コース

授業概要	<p>編曲のクオリティー向上のため、様々な楽曲を分析しアレンジ方法を真似することで、そのスキルを自分のものにしていく。あらゆる楽器の音域・奏法などを実際耳で感じながらパソコンで再現できるよう学んでいく。主に3和音と4和音のコードを、楽器ごとに聴き取る練習をしながら、プロの楽曲に使われるコード進行も習得する。この授業の目標は、最終的にプロの曲を自分で再現し、その曲内に使われているあらゆる技術を習得しながら、音の密度とコードへの理解を高めることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	耳コピー実力確認。 短い楽曲を耳コピーし、一人一人の実力チェック。
2	ベース応用編。 スラップ・スライドの再現、速弾きベースフレーズの耳コピー実習。
3	ドラム応用編。 ドラムの復習と打楽器系の耳コピー実習。
4	ピアノ応用編。 ピアノとキーボードの3和音・4和音の耳コピー実習。
5	エレキギター応用編。 コード引きの耳コピー。2本以上のギターの耳コピー実習。
6	弦楽器応用編。 ヴァイオリンの奏法復習。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの耳コピー実習。
7	管楽器応用編。 4種類以上の管楽器の耳コピー実習。
8	シンセとパッド系応用編。 短い楽曲再現。
9	マレット及び民族楽器応用編。 短い楽曲再現。
10	各自1曲を選び、耳コピー作業を開始する。 セッション作りや、Tempo、マーカーとトラック設定など基本的なセッティングの確認。
11	耳コピー実習をする。 ボーカルラインとコーラスを確認しアドバイス。
12	耳コピー実習をする。 ベースラインの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
13	耳コピー実習をする。 ドラムの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
14	耳コピー実習をする。 パーカッションの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
15	耳コピー実習をする。 高域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
16	耳コピー実習をする。 中域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
17	耳コピー実習をする。 聞き逃してる音を確認しアドバイス。
18	耳コピー実習をする。 全体的なミキシングバランスとリバーブを確認しアドバイス。
19	耳コピー実習をする。 今までの作業内容を総合的に確認し、楽曲を完成できるようアドバイス。

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	メロディメイキング		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース/オンライン・通学併修作曲・編曲コース

授業概要	楽曲コンペに通過するにあたり一番重要な「メロディ」について徹底的に研究する。実践を通し、コンペに受かりやすいメロディの制作技術を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、DAWの紹介、講師実績紹介
2	コンペ情報紹介、「売れるメロディ」の共通点とは
3	メロディ制作
4	メロディ制作
5	メロディ制作
6	楽曲制作
7	楽曲制作
8	楽曲制作
9	課題提出、まとめ
10	後期授業概要説明
11	メロディ制作
12	メロディ制作
13	メロディ制作
14	楽曲制作
15	楽曲制作
16	楽曲制作
17	楽曲制作
18	楽曲制作
19	課題提出、まとめ

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」JOP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作詞・メロディメイク		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	32 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>楽曲コンペに通過するにあたり一番重要な「メロディ」について徹底的に研究する。実践を通し、コンペに受かりやすいメロディの制作技術を習得する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、DAWの紹介、講師実績紹介
2	コンペ情報紹介、「売れるメロディ」の共通点とは
3	メロディ制作
4	メロディ制作
5	メロディ制作
6	楽曲制作
7	楽曲制作
8	楽曲制作
9	課題提出、まとめ
10	後期授業概要説明
11	メロディ制作
12	メロディ制作
13	メロディ制作
14	楽曲制作
15	楽曲制作
16	楽曲制作
17	楽曲制作
18	楽曲制作
19	課題提出、まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲編曲実習		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	DTMでの音楽制作に取り組んでもらうため、DAWにおける音源制作の一通りの作業を理解し習得してもらおう。DAWの基礎知識や必要な機材について紹介し、音楽の3要素を意識した作曲の心構えや、メロディー作りのポイントであるモチーフ、フレージングについて講義を行う。その後、MIDI打ち込みによるメロディー制作やコード進行制作の演習を行う。避けては通れない、必要最低限の基本的な音楽理論も扱う。各自がオリジナル楽曲の音源を制作できるようになる事が目標である。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／DTM・DAWの基礎知識と音楽制作フローについて／DTMに必要な機材とは
2	作曲の手法、メロディーの作り方／モチーフとフレーズ／キーとスケール
3	メロディー制作実習
4	ハーモニー：コードの基礎知識、コード進行の制作
5	コード進行制作実習
6	リズム：リズムの概念と種類、リズムアレンジ
7	リズム(ドラムビート)制作実習
8	オリジナル楽曲制作①
9	オリジナル楽曲制作②
10	後期授業概要説明、ガイダンス／プロユースのDTM機材とソフトウェア・プラグインについて
11	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／①ベース・アレンジ
12	①ベース・アレンジ実習
13	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／②ドラムス・アレンジ
14	②ドラムス・アレンジ実習
15	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／③-1エレクトリックギター・アレンジ
16	③-1エレクトリックギター・アレンジ実習
17	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／③-2アコースティックギター・アレンジ
18	③-2アコースティックギター・アレンジ実習
19	オリジナル楽曲制作③

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	MIDI概論		実務授業の有無	○
担当講師	横山 喜次		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>MIDI検定は1999年の第1回試験以来、これまでの著しい技術進歩により音楽制作の現場において、MIDIに加え Audio の知識が必須の状況となっている。このためMIDI検定3級ではMIDIの知識に加え、実際の音楽制作現場で必要とされるコンピュータやDAWの知識と楽典やデジタルオーディオに関する知識を有しているかを試されるものとなっている。</p> <p>この授業を通じて、今後の音楽制作のためのMIDIの知識習得と共に本検定取得を目指す。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業オリテ(学習の目当て、進行方法などの説明)。「音楽再生」と「音楽制作」の歴史、PCに関する知識(1)
2	PCに関する知識(2)、小テスト(1)
3	音楽制作にまつわるその他のハードウェア、ケーブルとコネクタの種類、MIDIの基礎知識、小テスト(2)
4	チャンネル・ボイス・メッセージ(1)
5	チャンネル・ボイス・メッセージ(2)、小テスト(3)
6	チャンネル・ボイス・メッセージ(3)
7	GM音源とスタンダードMIDIファイル、小テスト(4)
8	デジタルオーディオ、オーディオフォーマット、小テスト(5)
9	過去問による模擬試験(1)
10	MIDI検定3級試験範囲講義(1)
11	過去問による模擬試験(2)
12	MIDI検定3級試験範囲講義(2)
13	過去問による模擬試験(3)
14	MIDI検定3級試験範囲講義(3)
15	過去問による模擬試験(4)
16	MIDI検定3級試験範囲講義(4)
17	過去問による模擬試験(5)
18	MIDI検定3級試験範囲講義(5)
19	過去問による模擬試験(6)

教科書等	<p>ミュージッククリエイターハンドブック MIDI検定WEBサイト上の過去問題</p> <p>授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>授業内で行われる小テスト、過去問の結果及びMIDI検定3級試験結果80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>新潟市を拠点に作曲家として活動中。</p> <p>音楽電子事業協会主催 MIDI検定1級ライセンサー 同協会MIDI検定認定指導者</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	シンセサイザー概論		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／オンライン・通学併修作曲・編曲コース

授業概要	シンセサイザーの基礎知識から、シンセサイザーソフトを使用した音作りを学んでもらう。初回は講義形式で音やシンセサイザーの基礎知識と仕組みを紹介する。その後はシンセサイザー・ソフトウェアである「UVI Falcon」を用いて各自シンセサイズの実習を行う。様々なシンセサイザーの音色レシピアを具体的に紹介し、指定した音色を作成する課題に取り組む。最終的には目的の音をシンセサイザーを使って作れるようになること、さらに楽曲制作におけるシンセサイザー・アレンジを行えるようになる事を目標とする。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／シンセサイザーの基礎知識とシンセサイザーの仕組み
2	基本波形とその種類、オシレーター、フィルター、アンプリファイア
3	シンセサイズの波形変調／エンベロープ(ADSR)とLow Frequency Oscillator(LFO)
4	「UVI Falcon」の使い方紹介
5	オシレーター部の解説／作成課題①:ベル(Bell)トーン
6	フィルター、アンプリファイア部、ボイスイングの解説／作成課題②: Van Halen「JUMP」のシンセ・パッド
7	エフェクト部の解説／作成課題③: Europe「The Final Countdown」のシンセ・プラス
8	LFO部の解説／作成課題④: EDMのワブル・ベースサウンド(シンセ・ベース)
9	シンク・オシレーターとFM変調の解説／作成課題⑤: エレキギター風のシンセ・リード
10	後期授業概要説明、ガイダンス／DTMにおけるシンセサイザー・ソフトウェアの種類及びディベロッパーについて
11	作成課題①: 効果音「嵐の音」(ノイズ・オシレーターとフィルターの使用)
12	作成課題②: 宇多田ヒカル「automatic」のサイン波リード
13	モジュレーション・エンベロープについて／作成課題③ピッチエンベロープによる上昇と下降の効果音
14	作成課題④: Perfume「チョコレート・ディスコ」イントロのpluck synth
15	作成課題⑤: アレンジに合わせたシンセベースサウンド
16	楽曲中におけるシンセサイザー・アレンジの手法とその研究
17	シンセサイザーを取り入れたオリジナル楽曲の制作①
18	シンセサイザーを取り入れたオリジナル楽曲の制作②
19	応用編: 他のシンセサイザーを初見で使ってみる「Vacuum」

教科書等	講義スライド「シンセサイザー概論」(講師制作) 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	和声学&オーケストレーション		実務授業の有無	○
担当講師	野瀬 珠美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	オーケストレーションを行うにあたり、特に重要な役割を担う弦楽器群の扱い方を学び、その際に最も必要になってくる和声学を中心に学習する。
------	--

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	基本位置3和音の配置と連結
2	↓
3	和音設定(和音機能.カデンツ.終止形)
4	↓
5	各調での連結
6	3和音の第1転回位置を含む連結
7	3和音の第2転回位置を含む連結
8	↓
9	復習
10	7の和音(基本形)を含む連結
11	7の和音(第1転回)を含む連結
12	7の和音(第2転回.根音省略形)を含む連結 ・ 木管楽器の概要
13	↓
14	9の和音(基本形)を含む連結 ・ 金管楽器の概要
15	9の和音(転回形)を含む連結
16	↓
17	9の和音(根音省略形)を含む連結 ・ その他の楽器の概要
18	↓
19	復習

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	2010年より国際音楽エンタテインメント専門学校、2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アレンジメント		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース／オンライン・通学併修作曲・編曲コース

授業概要	<p>編曲に必要な楽器のアレンジ、トラックごとのMIDIでの打ち込み方を学ぶ。 基本的なアプローチをレクチャーし、個性に合わせた応用方法を提示することにより質の高いオリジナル楽曲の制作へ発展させる。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 編曲についての基本知識
2	リズム楽器のアレンジ(ドラムス)基礎
3	リズム楽器のアレンジ(ドラムス)応用
4	コード楽器のアレンジ(ピアノ)基礎
5	コード楽器のアレンジ(ピアノ)応用
6	低音楽器のアレンジ(ベース)基礎
7	低音楽器のアレンジ(ベース)応用
8	コード楽器のアレンジ(ギター)基礎
9	コード楽器のアレンジ(ギター)応用
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	パッド系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ)基礎
12	パッド系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ)応用
13	リード系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ・ギター)基礎
14	リード系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ・ギター)応用
15	サウンドエフェクト系トラックの制作
16	楽曲の構成・展開・演出
17	楽曲の構成・展開・演出
18	課題曲制作
19	後期まとめ 課題曲提出

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。